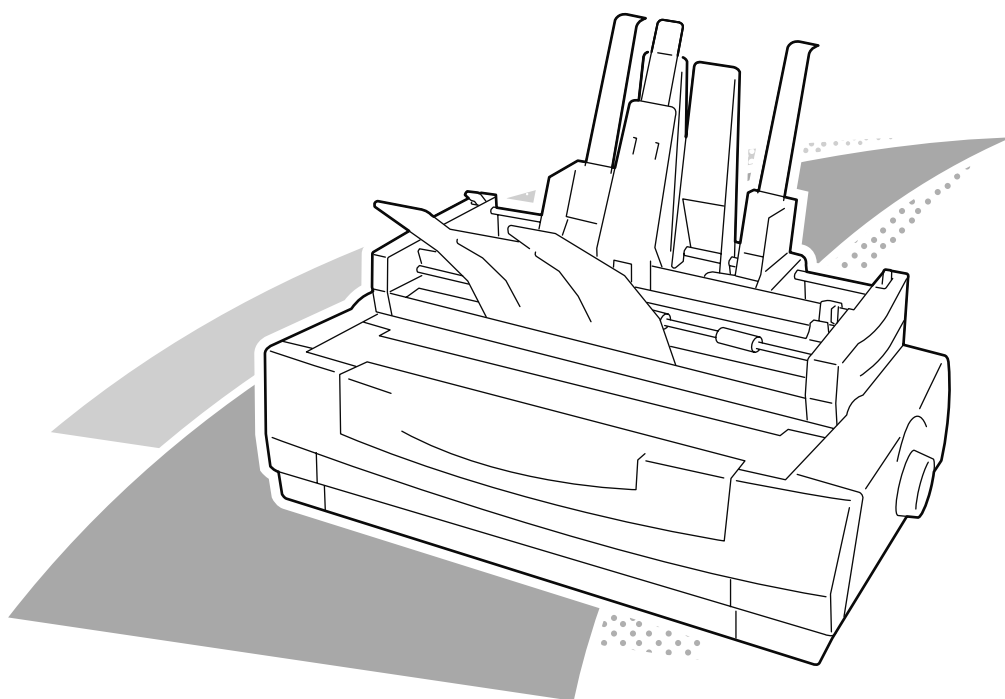
MultiImpact 201HA
MultiImpact 201MA

ドットインパクトプリンタ

ユーザーズマニュアル

853-811127-501-A
初版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルにはプリンタのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		体内に入れると有害な物質であることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

- プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
- ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
- 指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。
- 水や液体がかかる場所で使用しないでください。感電や発火のおそれがあります。
- 金属類を差し込まないでください。感電のおそれがあります。
- 薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による感電や火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードは使わないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 直射日光を避けてください。発火のおそれがあります。
- 手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれてけがをするおそれがあります。
- 不安定な場所を避けてください。けがをするおそれがあります。
- お子様を近づけないでください。けがをするおそれがあります。
- たこ足配線にしないでください。発火のおそれがあります。
- 電源プラグを中途半端に差し込まないでください。火災のおそれがあります。
- 電源コードをねじらないでください。感電や火災のおそれがあります。
- プリンタを一人で持ち上げないでください。けがをするおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

- プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。火災や漏電のおそれがあります。
- 電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して火災や感電のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容	記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。	チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECドットプリンタMultiImpact 201HA/201MAを正しくお使いいただくための手引きです。

本マニュアルにはMultiImpact 201HA/201MAの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、ソフトウェアマニュアルとオンラインマニュアル（プリンタソフトウェアCD-ROM収録）もご覧ください。

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めてMultiImpact 201HA/201MAをお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、MultiImpact 201HA/201MAを正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったりしたときは随時このマニュアルを活用してください。

第1章　初めてお使いになるとき

本プリンタの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、プリンタを箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また、本プリンタに用意されている様々なオプションを紹介しています。

第2章　用紙の取り扱い

カット紙、連続紙の取り扱い方法を、用紙のセットを中心に説明しています。

第3章　メニューモードで設定変更する

操作パネル上のスイッチやランプの機能、プリンタが持っている様々な便利な機能を説明しています。

第4章　日常の保守

インクリボンカートリッジの交換やプリンタの清掃手順を説明しています。

第5章　故障かな？と思ったときは

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、プリンタを運搬するときの準備についても記載しています。

付録

プリンタの仕様、用紙の規格、用紙の設計に関する注意事項、印刷範囲に関する情報を記載しています。

MultiImpact 201HA/201MAにはユーザーズマニュアルのほかに「ソフトウェアマニュアル」、「オンラインマニュアル」があります。併せてご活用ください。

MultiImpact 201HA/201MAの特長

MultiImpact 201HA/201MAの特長を簡単に説明します。

- **USBインタフェースに対応**

  オプションのUSB-パラレル変換ケーブルを使用することで、USBインタフェースでの印刷が可能です。

- **PrinterSignalStation、リモートパネル**

  プリンタの状態（用紙なし、エラーなど）や印刷の進行状況を確認することができます。またプリンタの各種設定をコンピュータの画面上で行うことができます。PrinterSignalStation、リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- **各種ネットワークに対応**

  MultiImpact 201HA/201MAはオプションでTCP/IPに対応したLANアダプタを接続することができます。

- **7色のカラー印刷（MultiImpact 201HAのみ）**

  カラーインクリボンカートリッジを使用することにより、7色のカラー印刷を行うことができます。

- **自動カット位置送り機能**

  連続紙の印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。この機能を使えば、スピーディに用紙をカットすることができます。

- **自動用紙厚調整機能（MultiImpact 201HAのみ）**

  用紙の厚さを自動的に測定する機能です。用紙枚数1～5枚まで自動的に検出できます。

- **各種用紙に印刷可能**

  MultiImpact 201HA/201MAは、はがきからA3サイズまでのカット紙、連続紙のほか複写式用紙やラベル紙など様々な用紙＊[1] に印刷することができます。

- **バーコード印刷**

  NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタマバーコードの印刷ができます。

＊1　付録「用紙の規格」参照。

目次

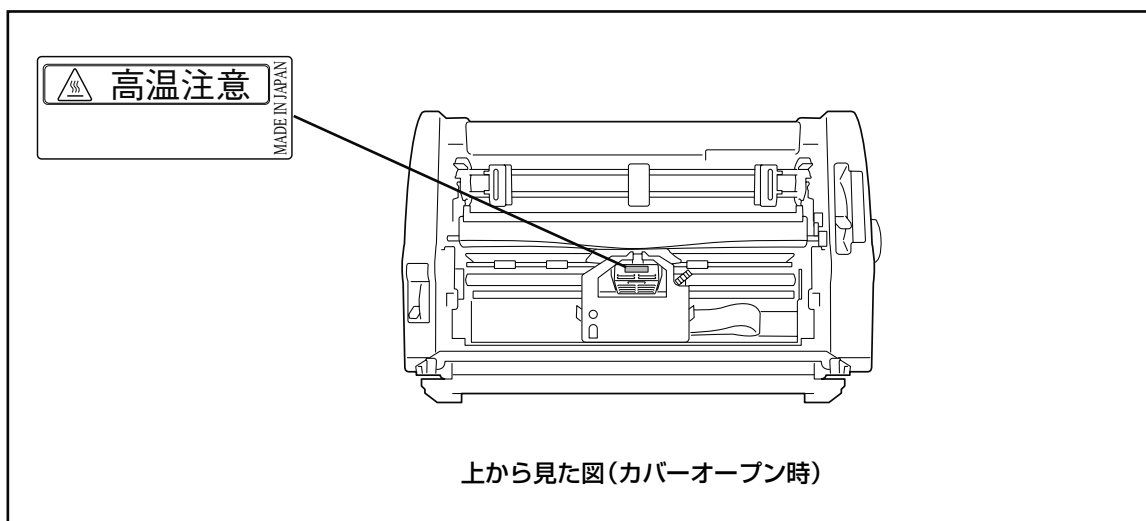
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiImpact 201HA/201MAプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図*に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡ください。

これらの警告内容については、次の項目「安全上のご注意」で説明しますが、本書内の該当する操作手順中でも随時説明しています。

上から見た図（カバーオープン時）

*　図はMultiImpact 201MAの例です。

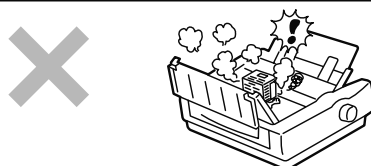
安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

⚠ 警告

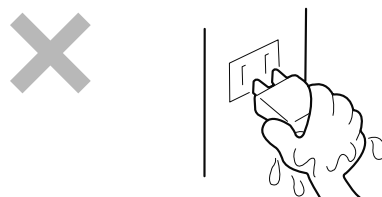
分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意

高温注意

プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

⚠ 注 意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

プリンタ内に異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは､すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

ほこり・湿気の多い場所で使用しない

・プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
・プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

不安定な場所に置かない

プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

プリンタを一人で持ち上げない

プリンタや添付品を含んだ購入時の梱包箱の質量は、MultiImpact 201HAで約19kg、MultiImpact 201MAで約18kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。持ち運ぶときは二人以上で持ってください。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

直射日光が当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンタの近くで携帯電話等を使用しない

携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

インクリボンをなめたりしない

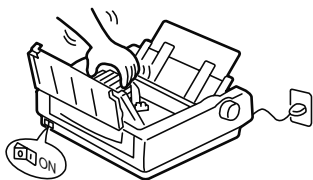
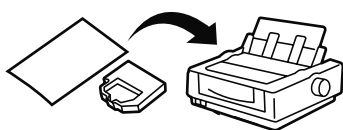
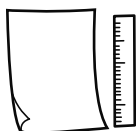
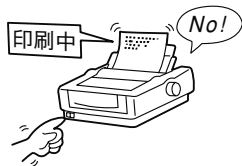
・インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。
・インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。
・万が一、目に入った場合は、水で洗い流し、眼科医の手当てを受けてください。

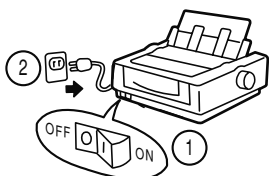
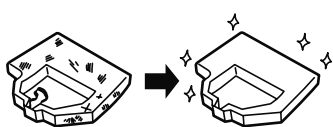
1章
初めてお使いになるとき

この章では、プリンタの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピュータに接続するまでを以下の手順で説明します。

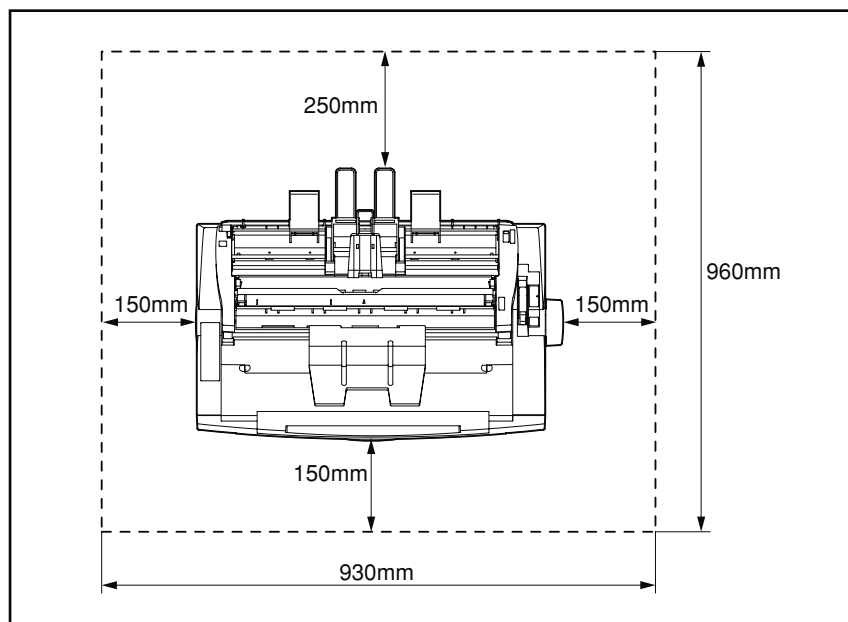
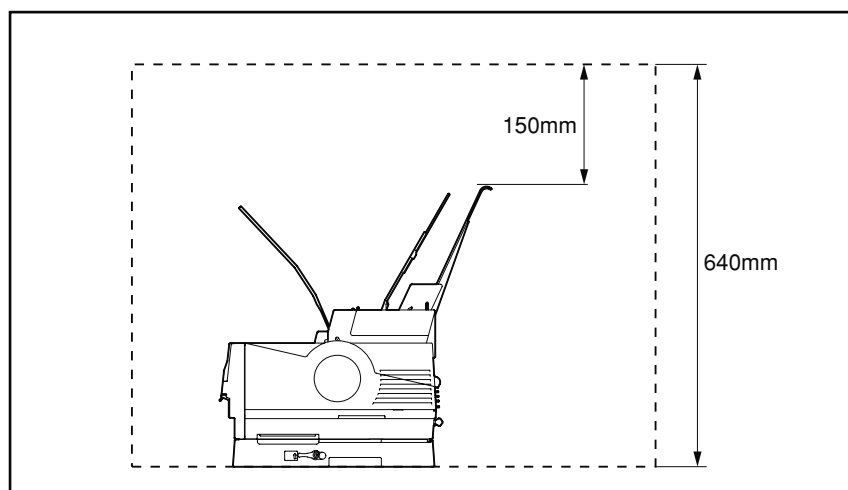
1　箱の中身を確認する
2　各部の名称を確認する
3　保護用部品を取り除く
4　インクリボンカートリッジを取り付ける
5　トップシートガイドを取り付ける
6　電源コードを接続する
7　テスト印刷をする
8　コンピュータに接続する

取り扱い上の注意

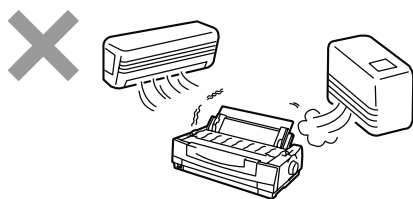
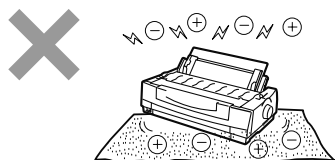
プリンタを正しく安全に活用していただくために、次のことをお守りください。

電源がONになっているときは、印刷ヘッドを手で動かさないでください。

必ず用紙をセット・吸入し、インクリボンカートリッジを取り付けた状態で印刷してください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることになります。

用紙は規格内のものを使用してください。湿った用紙は使用しないでください。

印刷動作中は電源をOFFにしないでください。

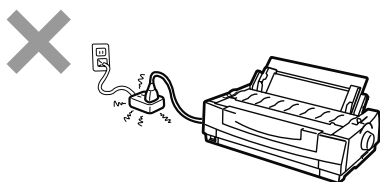
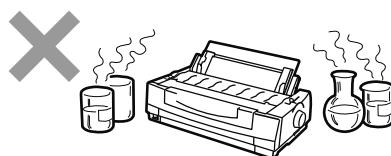
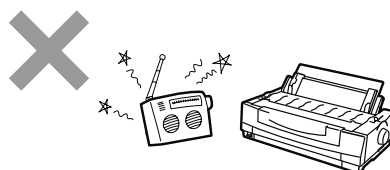
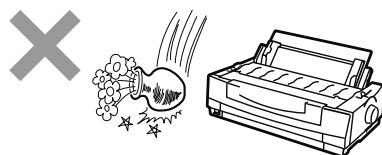
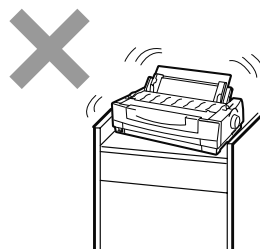
接続したコンピュータの電源をOFFにしたときは、必ずプリンタの電源もOFFにしてください。

電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチをOFFにしてからプラグを持って行ってください。

印刷が薄くなったときはインクリボンカートリッジまたはインクリボンを交換してください。インクリボンカートリッジ、インクリボンはNECが指定するものを使用してください。他のインクリボンカートリッジ、インクリボンでは十分性能を発揮できないことがあります。指定のインクリボンカートリッジ、インクリボンであることを確認してください。

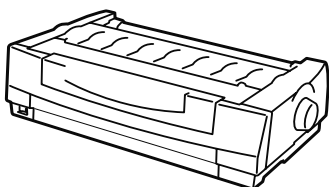
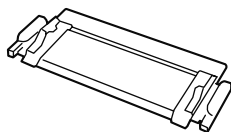
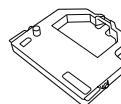
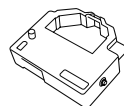
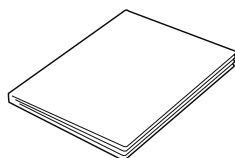
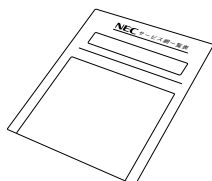
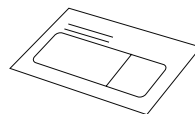
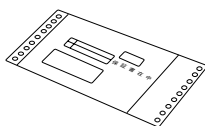
設置に必要なスペース

MultiImpact 201HA/201MAに必要なスペースは次のとおりです。プリンタを安全で快適にご使用いただくために、十分なスペースを確保して風通しのよい場所に設置してください。図は、オプションのシートフィーダおよびフロントトラクタフィーダを装着した場合に必要となるスペースの例です。

プリンタ上面

プリンタ右側面

設置してはいけない場所

温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫の近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

電源の延長コードは使用しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しないことがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。

プリンタを縦型OAラック等の上段など不安定な場所に置かないでください。けがのおそれや周囲の破損の原因となることがあります。

1 箱の中身を確認する

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

プリンタの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください。

- プリンタとコンピュータを接続するプリンタケーブルは本プリンタには付属していません。別途お買い求めください（11ページ参照）。
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。
- 梱包材（箱や緩衝材）は、プリンタを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

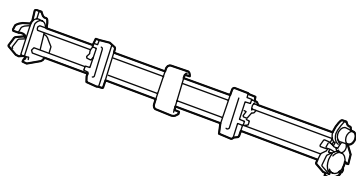
別売品

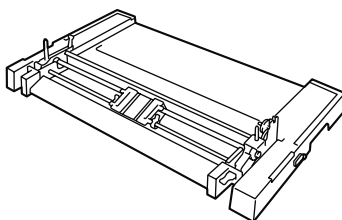
ご購入にあたりましては、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

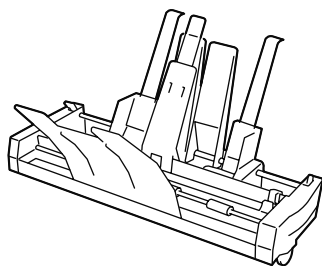
オプション

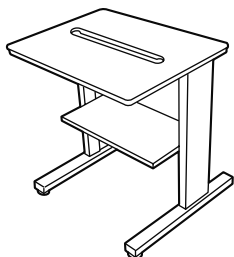
オプションの詳しい説明については、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMのオンラインマニュアルをご覧ください。

トラクタフィーダ（PR-D201HA-03）

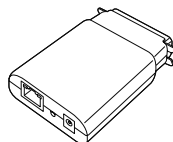
複写式の連続紙やラベル紙など、用紙送りに高い精度が要求される連続紙に印刷するときに使います。

フロントトラクタフィーダ（PR-D201HA-13）

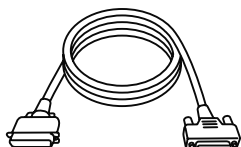
連続紙を前から給紙することができます。トラクタユニットを使うことにより2種類の連続紙を切り替えて使用できます。

シートフィーダ（PR-D201HA-04）

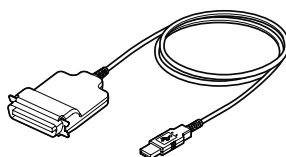
カット紙を自動的に給紙します。

プリンタ卓（PR-D201X-09A）

連続紙を底から給紙する場合に使います。

プリントサーバ（LANアダプタ）（PR-NP-17）

100BASE-TX、10BASE-Tインタフェースを装備し、プリンタのパラレルインタフェースに直接装着する外付けLANアダプタです。

LANアダプタに関する詳細についてはプリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

プリンタケーブル
（PC-PRCA-01（1.5m）、PC-CA205（4m））

PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）に対応したケーブルです。

USB-パラレル変換ケーブル
（型番　PR-NP-U01）

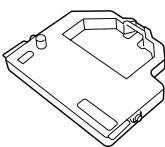
USBインタフェースでの印刷に使用するケーブルです。

チェック

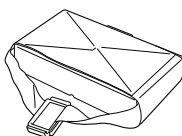
- コンピュータ本体とプリンタの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、USBハブなどを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はオプションのLANアダプタと専用のネットワークケーブルが必要です。
- 対応OSについての最新情報はカタログや情報サービス（72ページ参照）で提供しています。
- オプションのプリントサーバでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

消耗品

インクリボンカートリッジ（黒）
（PR-D201MX2-01）

MultiImpact 201MAで黒単色印刷するためのインクリボンカートリッジです。

MultiImpact 201MA標準添付品と同一です。
（MultiImpact 201MAのみ）

交換用インクリボン（黒）
（PR-D201MX2-02）

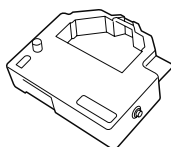
インクリボンカートリッジ（黒）（PR-D201MX2-01）用の交換用インクリボンです（4個入り）。（MultiImpact 201MAのみ）

インクリボンカートリッジセット（黒）
（PR-D201MX2-06）

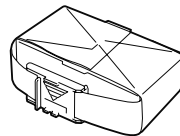
インクリボンカートリッジ（黒）（PR-D201MX2-01）と交換用インクリボン（黒）（PR-D201MX2-02）を組み合わせたセットです。

（MultiImpact 201MAのみ）

ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）
（PR-D700XX2-01）

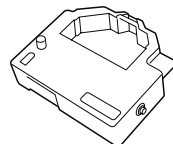
MultiImpact 201HAでランニングコストを安くするための長寿命インクリボンカートリッジです。

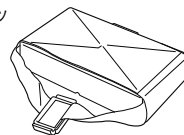
MultiImpact 201HA標準添付品と同一です。
（MultiImpact 201HAのみ）

交換用ロングライフインクリボン（黒）
（PR-D700XX2-02）

インクリボンカートリッジ（黒）（PR-D700XX2-01)用の交換用インクリボンです（2個入り）。（MultiImpact 201HAのみ）

ロングライフインクリボンカートリッジセット（黒）
（PR-D700XX2-06）

ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）（PR-D700XX2-01）と交換用ロングライフインクリボン（黒）（PR-D700XX2-02）を組み合わせたセットです。（MultiImpact 201HAのみ）

カラーインクリボンカートリッジ
（PR-D700XX2-11）

カラー印刷のための4色インクリボンカートリッジです。（MultiImpact 201HAのみ）

交換用カラーインクリボン
（PR-D700XX2-12）

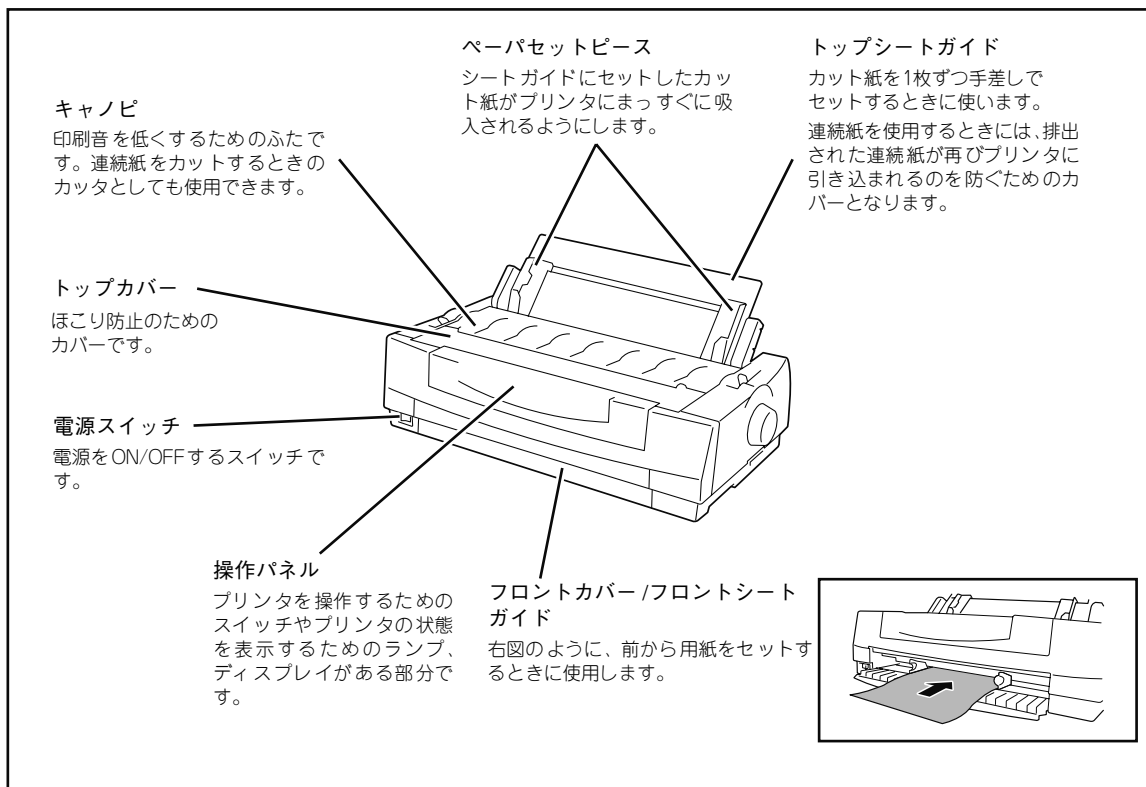
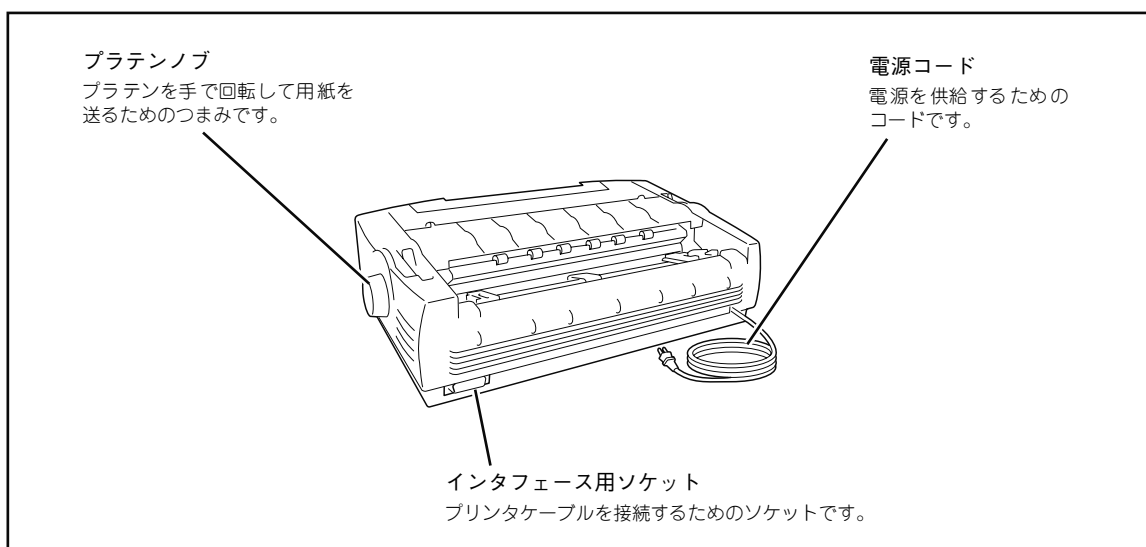
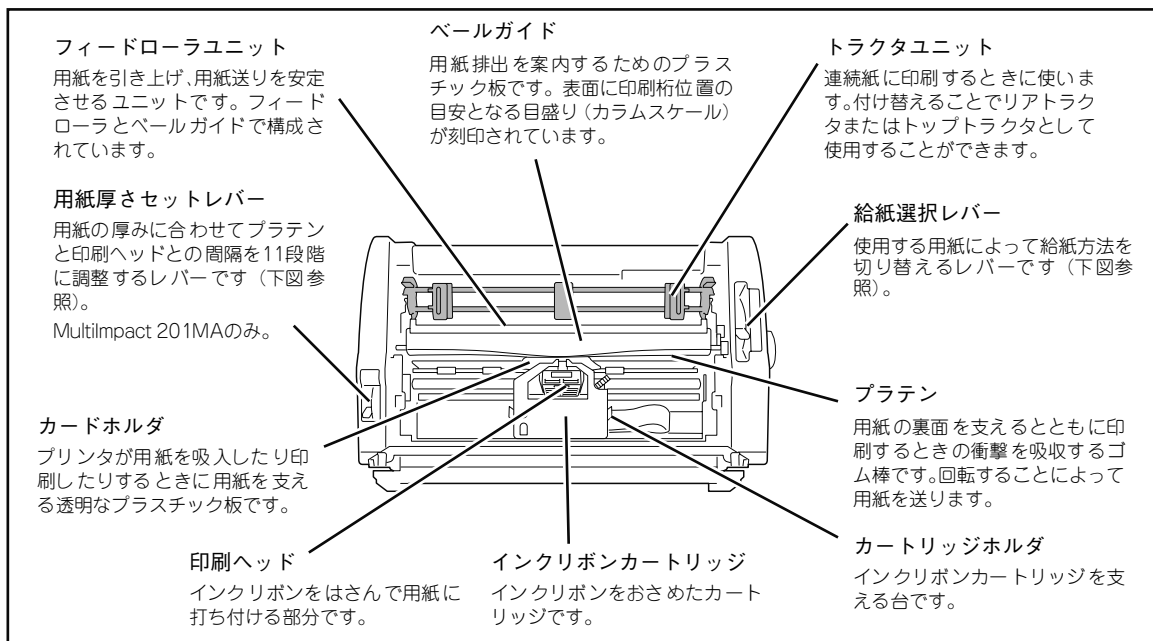
カラーインクリボンカートリッジ(PR-D700XX2-11)用の交換用インクリボンです（4個入り）。（MultiImpact 201HAのみ）

カラーインクリボンカートリッジセット
（PR-D700XX2-16）

カラーインクリボンカートリッジ（PR-D700XX2-11）と交換用カラーインクリボン（PR-D700XX2-12）を組み合わせたセットです。
（MultiImpact 201HAのみ）

チェック

- 本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジ、インクリボンは使用期限内にお使いください。
- それぞれの可能印刷数は、「付録」の77ページの表をご覧ください。

2 各部の名称を確認する

プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

ペーパセットピース
シートガイドにセットしたカット紙がプリンタにまっすぐに吸入されるようにします。

トップシートガイド
カット紙を1枚ずつ手差しでセットするときに使います。
連続紙を使用するときには、排出された連続紙が再びプリンタに引き込まれるのを防ぐためのカバーとなります。

キャノピ
印刷音を低くするためのふたです。連続紙をカットするときのカッタとしても使用できます。

トップカバー
ほこり防止のためのカバーです。

電源スイッチ
電源をON/OFFするスイッチです。

操作パネル
プリンタを操作するためのスイッチやプリンタの状態を表示するためのランプ、ディスプレイがある部分です。

フロントカバー/フロントシートガイド
右図のように、前から用紙をセットするときに使用します。

プリンタ前面

プリンタ背面

プリンタ内部

用紙　　枚数	レバー位置の目安
普通紙　1枚 坪量64g/m2（連量55kg）	◀3
複写紙　3枚 坪量39.5g/m2（連量34kg）※1	5
複写紙　5枚 坪量39.5g/m2（連量34kg）※1	7
はがき	6

※1　用紙1枚あたりの坪量、連量

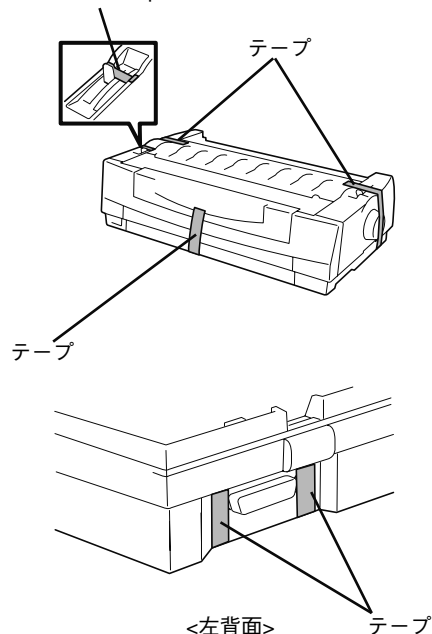
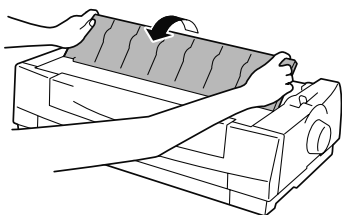
用紙厚さセットレバー（MultiImpact 201MAのみ）

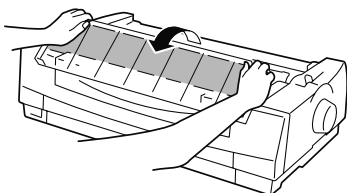
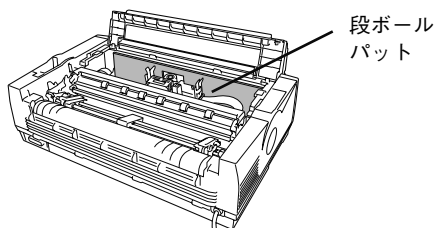
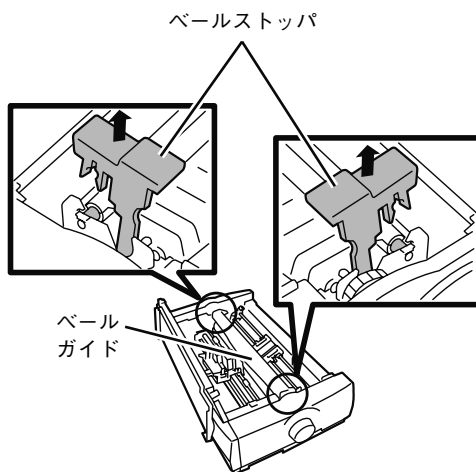
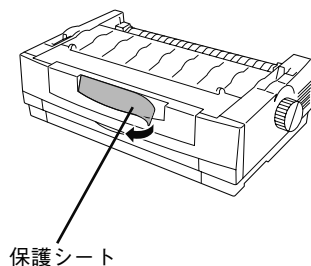
給紙選択レバー

3 保護用部品を取り除く

プリンタ本体には保護用部品が取り付けられています。保護用部品は運搬時の衝撃からプリンタを守るためのもので、プリンタを使用するときは必要ありません。

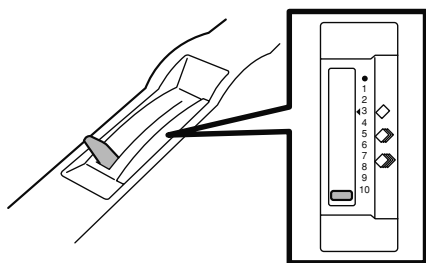
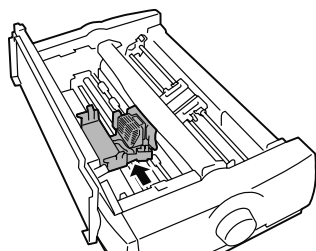
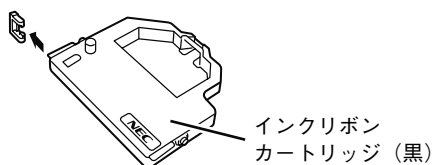
❶ **テープを取り除く。**

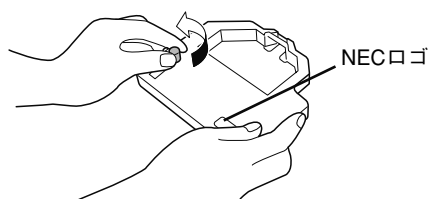
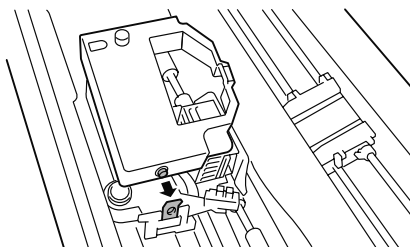
<左背面>

❷ **キャノピを手前に起こして開ける。**

❸ **トップカバーを手前に起こして開ける。**

❹ **段ボールパットを取り除く。**

❺ **ベールガイドの左右にある赤色のベールストッパを持ち上げて、プリンタから取り外す。**

❻ **操作パネルを覆っている保護シートをはがす。**

4 インクリボンカートリッジを取り付ける

次の手順でインクリボンカートリッジを取り付けてください。

❶ **キャノピとトップカバーを開ける****（15 ページ参照）****。**

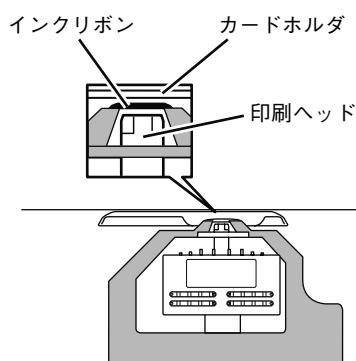
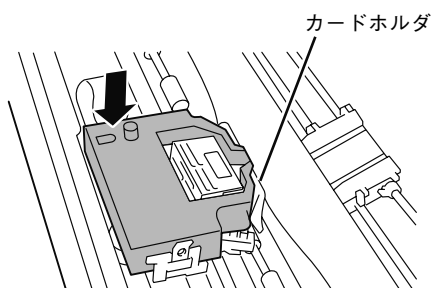
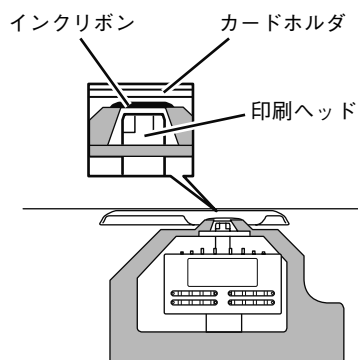
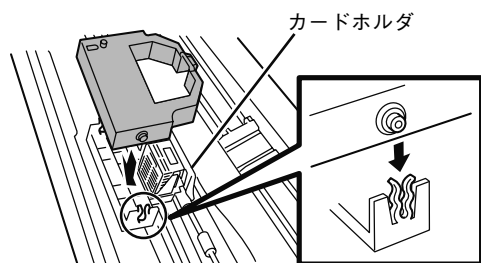
❷ **用紙厚さセットレバーの位置をいちばん手前側（10の位置）にする（MultiImpact 201MAのみ）。**

❸ **カートリッジホルダをプリンタの中央付近に手で移動させる。**

❹ **インクリボンカートリッジに付いているストッパを外す（MultiImpact 201MAのみ）。**

❺ **NECロゴのある面を上にしてインクリボンカートリッジを持つ。**

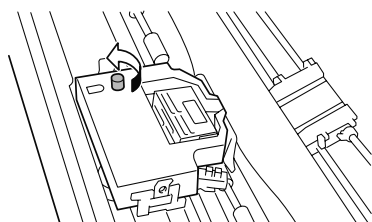
リボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回してたるみをとってください。

❻ **インクリボンカートリッジを取り付ける。**

<MultiImpact 201HAの場合>

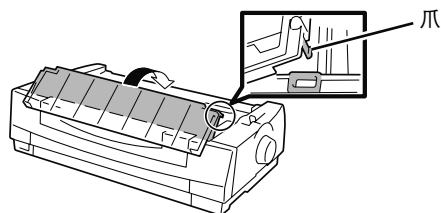
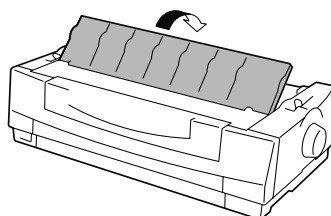
インクリボンカートリッジの右の突起をカートリッジホルダに差し込みます。

次に、リボンが印刷ヘッドとカートリッジホルダの間に入るようにしながらカートリッジの左側を矢印の方向へ静かに押し込みます。

<MultiImpact 201MAの場合>

インクリボンカートリッジの左右の突起をカートリッジホルダの左右の溝に合わせます。次に、インクリボンが印刷ヘッドとカートリッジの間に入るようにしながらカートリッジ全体を矢印の方向へ静かに押し込みます。

❼ フィードノブを回してインクリボンが軽く動くことを確認する。

動かないときはもう一度やり直してください。

❽ 用紙厚さセットレバーを使用する用紙の位置に合わせてください。（MultiImpact 201MAのみ）

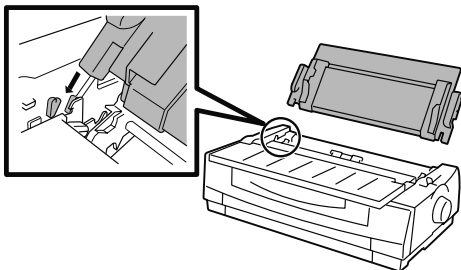
❾ トップカバーを閉める。

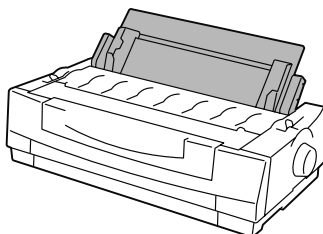
下図のようにトップカバーの爪を本体の穴に入れて押し込みます。

❿ キャノピを閉める。

5 トップシートガイドを取り付ける

トップシートガイドは、カット紙を手差しで1枚ずつセットするときに使います。

1. キャノピを開ける（15ページ参照）。

2. プリンタ左右の内側の突起の間にシートガイドを斜めにして挿入する。

3. キャノピを閉める（17ページ参照）。

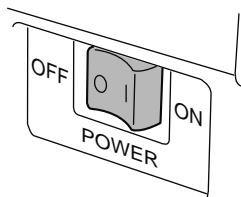
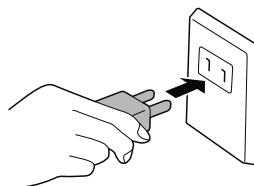
4. シートガイドが図のように立っていることを確認する。

6 電源コードを接続する

電源コードは必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。

⚠注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- コンピュータ本体の補助コンセントには接続しないでください。
- たこ足配線はおやめください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお近くの販売店または保守サービス会社に修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。

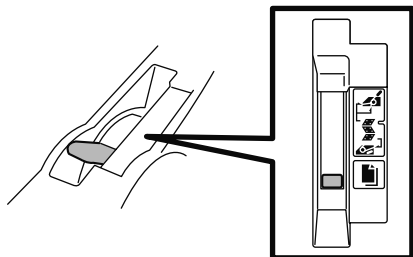
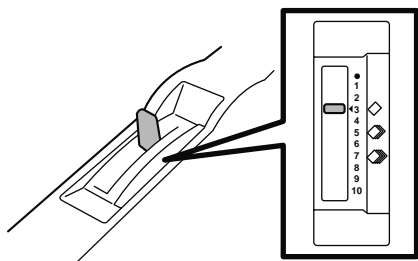
❶ プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

❷ 電源コードのプラグをコンセントに差し込む。

電源スイッチをONにしてから印刷できる状態になるまで、プリンタは次のように動作します。

(1)　操作パネルのすべてのランプが点灯します。
(2)　印刷ヘッドが左端に移動します。
(3)　電源ランプ、用紙ランプ以外のランプが消灯します。（用紙がセットされているときは、電源ランプ、印刷可ランプ以外のランプが消灯します。）

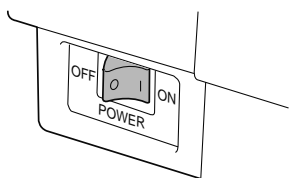
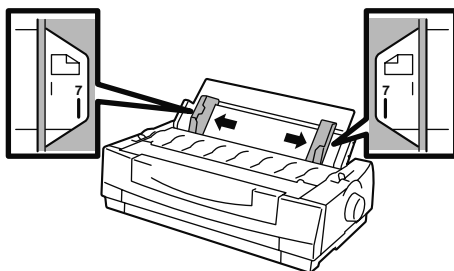
電源をONにするときは、トップカバーとキャノピが閉まっていることを確認してください。

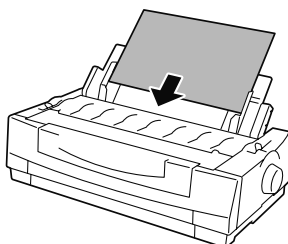
7 テスト印刷をする

プリンタが正常に動くことを確かめるために、テスト印刷を行います。このテスト印刷は第5章「5章 故障かな？と思ったときは」の処置が済んだ後にも必要に応じて実行することをお勧めします。
テスト印刷には381mm（15インチ）幅以上の連続紙、またはB4サイズ以上のカット紙を横置きにして使用します。ここでは、B4サイズのカット紙を使う場合を例にとってテスト印刷の手順を説明します。

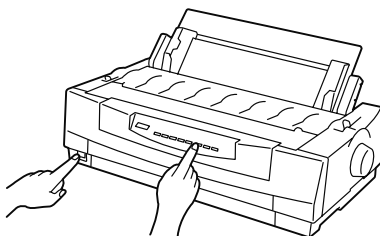
❶ **給紙選択レバーをカット紙（手前）にする。**

❷ **用紙厚さセットレバーを3の位置にする（坪量64g/m^2（連量55kg）用紙1枚の場合）（MultiImpact 201MAのみ）。**

❸ **トップシートガイドを取り付ける（18 ページ参照）。**

❹ **電源をONにする。**

電源ランプと用紙ランプが点灯します。

❺ **トップシートガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のペーパセットピースをB4用紙横置きの幅に合わせる。**

❻ **B4用紙を横置きにしてペーパセットピースの間に挿入し、突き当たるまで差し込む。**

用紙ランプが消灯し、約2秒後に用紙が吸入されればセット完了です。

❼ **いったん電源をOFFにする。**

❽ **［改頁］スイッチを押しながら再び電源を ONにする。**

テスト印刷が始まるまで［改頁］スイッチを押し続けてください。

1ページ分印刷し終わると、用紙ランプが点灯し、テスト印刷が中断します。テスト印刷を終了させるときは手順9に進んでください。テスト印刷を続けたいときは、新しいB4用紙をセット・吸入してください。テスト印刷を再開します。

⑨ **プリンタが正常にテスト印刷を行っていることが確認できたら、［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押してテスト印刷を終了させる。**

⑩ **［排出 / カット］スイッチを押して用紙を排出する。**

⑪ **テスト印刷が終わったら、オンラインマニュアルの「テスト印刷サンプル」を参照して印刷の状態を確認する。**

文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたりしたときは「4　インクリボンカートリッジを取り付ける」（16ページ）に従ってインクリボンカートリッジを取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い求めの販売店に連絡してください。

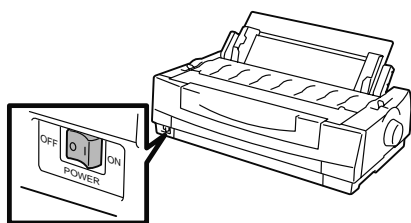
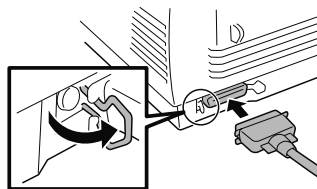
- テスト印刷中に［印刷可］スイッチを押すとテスト印刷が中断します。もう一度［印刷可］スイッチを押すとテスト印刷が再開します。
- テスト印刷中に［機能選択］スイッチを押すと、現在印刷中の印刷モードを中断して次の印刷モードに移ります。
- 途中で用紙がなくなった場合は、新しい用紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。

8 コンピュータに接続する

本プリンタにはプリンタケーブルが添付されていません。プリンタをコンピュータに接続するには別売のプリンタケーブルをお買い求めいただく必要があります。プリンタケーブルのタイプは、コンピュータによって異なります。本プリンタを接続するコンピュータに合ったプリンタケーブルを販売店でお求めください。詳細については「プリンタケーブル」（11ページ）を参照してください。

オプションのUSB-パラレル変換ケーブルをご使用の際は、“プリンタケーブル”を“USB-パラレル変換ケーブル”に読み替えてください。

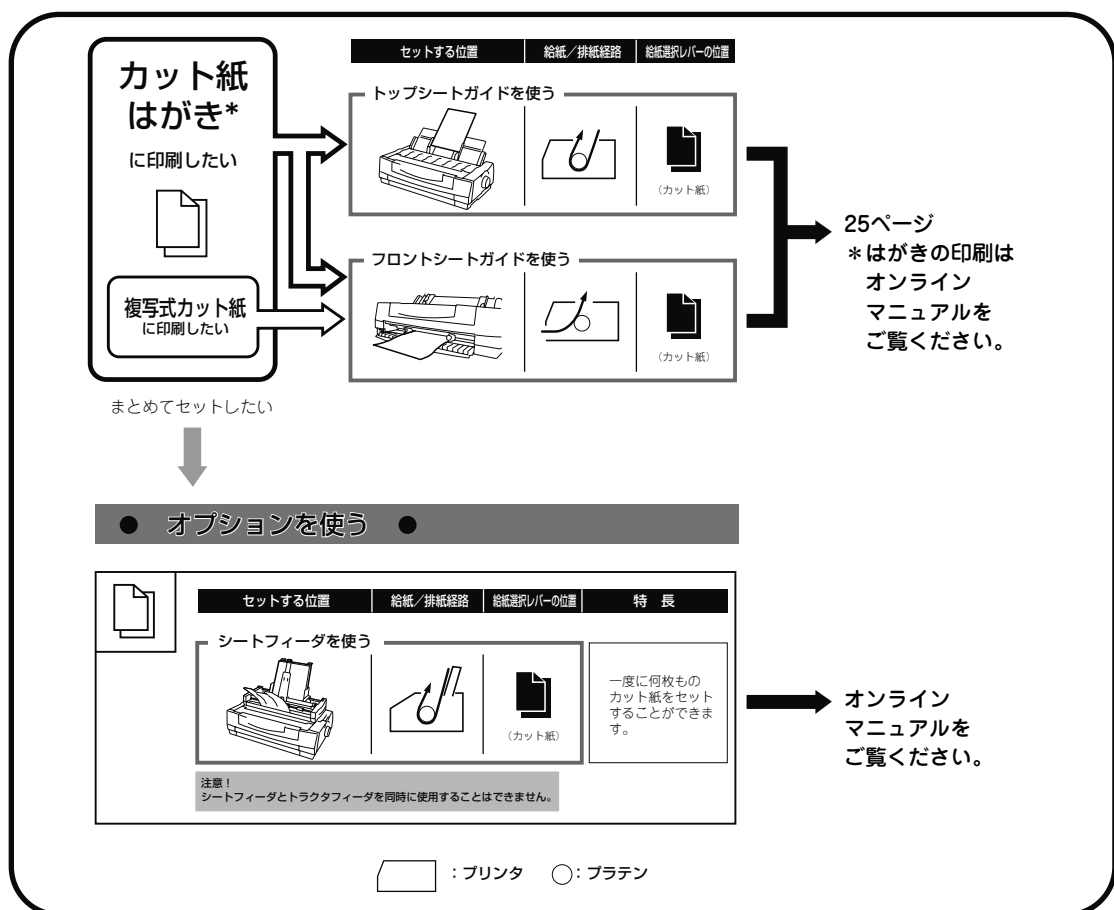
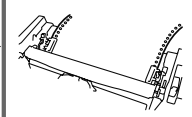
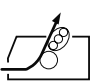
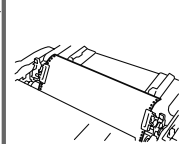
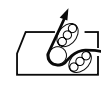
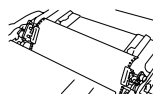
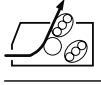
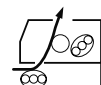
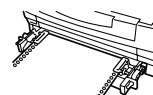
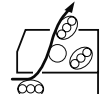
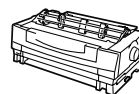
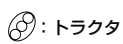
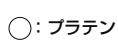
1 プリンタおよびコンピュータの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

電源がONになっている状態で接続すると故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

2 プリンタケーブルのコネクタをインタフェース用ソケットに差し込み、留め金具で抜けないように固定する。

3 プリンタケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続する。

コンピュータのインタフェース用ソケットの位置については、コンピュータに添付されているマニュアルをご覧ください。

2章
用紙の取り扱い

この章では、用紙のセット方法について説明します。

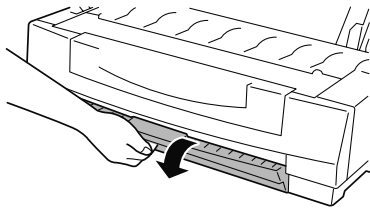
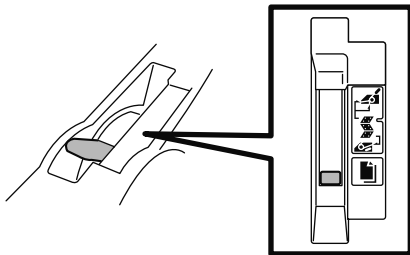
印刷する用紙が決まったら、下の図を見ながら適切な給紙方法を選んでください。

連続紙
に印刷したい
複写式連続紙・
ラベル紙
に印刷したい
トラクタの位置
給紙／排紙経路
給紙選択レバーの位置
トラクタユニットをリアトラクタとして使う
（リアトラクタ）
30ページ
トラクタユニットをトップトラクタとして使う
（トップトラクタ）
32ページ
より正確な位置に印刷したい
（特に5P用紙等の複写紙でフォーマット印刷紙に印刷する場合）
2種類の連続紙をセットしたまま切り替えて使用したい
● オプションを使う ●
トラクタの位置
給紙／排紙経路
給紙選択レバーの位置
特 長
トラクタフィーダを使う
（リアトラクタ）
高い改行精度が得られる給紙方法です。
（トップトラクタ）
複写式用紙やラベル紙に印刷するときに便利です。
オンライン
マニュアルを
ご覧ください。
フロントトラクタフィーダを使う
（フロントトラクタ）
複写式用紙やラベル紙に印刷するときに便利です。
（リアトラクタ）
または
（フロントトラクタ）
を切り替えて使う
2種類の連続紙をセットし直さずに印刷できます。
オンライン
マニュアルを
ご覧ください。
トラクタフィーダとフロントトラクタフィーダを使う
（フロントトラクタ）
高い改行精度が得られる給紙方法です。
オンライン
マニュアルを
ご覧ください。
：プリンタ
：トラクタ
：プラテン

カット紙に印刷する

カット紙に印刷するときは、トップシートガイドまたはフロントシートガイドを使用します。オプションのシートフィーダを使えば一度に何枚ものカット紙をセットすることができます。

カット紙のセット

トラクタユニットがトップトラクタとして取り付けられている場合、またはトラクタフィーダ（オプション）を取り付けている場合は、カット紙は使用できません。カット紙を使用する場合は、トップトラクタまたはトラクタフィーダを取り外してください。

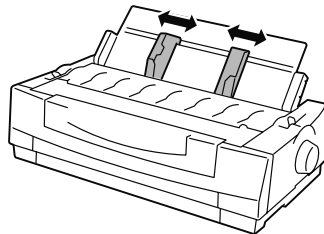
1 トップシートガイドを使う場合はトップシートガイドを立てる（18ページ参照）。

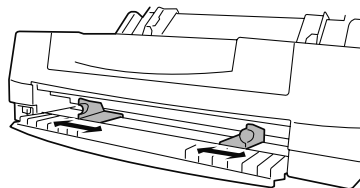
フロントシートガイドを使う場合は、フロントカバーを開けます。

2 給紙選択レバーをカット紙（手前）にする。

3 セットするカット紙の厚さに合わせて、用紙厚さセットレバーを適切な位置に動かす（14ページ）参照。

MultiImpact 201MAの場合のみ、セットします。

4 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯します。

5 それぞれのシートガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のペーパセットピースを使用するカット紙の幅に合わせせる。

● トップシートガイドの場合

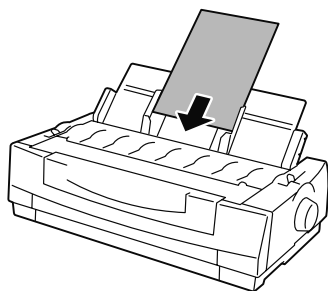
● フロントシートガイドの場合

6 カット紙をペーパセットピースに沿って挿入し、突き当たるまで差し込む。

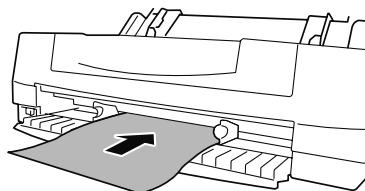
用紙ランプが消灯し、約2秒*後にカット紙が吸入され、印刷可ランプが点灯すれば、セット完了です。

カット紙はまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったんカット紙を排出し、セットし直してください。

＊ スペシャルメニューモード（51ページ）で設定変更が可能です。

● トップシートガイドの場合

印刷する面を下にしてください。

● フロントシートガイドの場合

印刷する面を上にしてください。

ここで、カット紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」（38ページ）をご覧ください。

これでプリンタは印刷データをコンピュータから受信し、カット紙に印刷できる状態になりました。

- シートガイドには連続紙をセットしないでください。紙づまりやその他のトラブルの原因になります。
- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

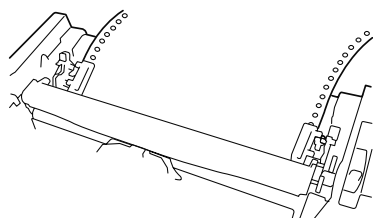
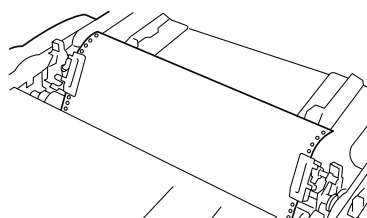
チェック

印刷の途中で用紙がなくなった（用紙ランプ点灯）場合は、新しいカット紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。

カット紙の排出

カット紙を排出する場合は［排出/カット］スイッチを押します。
次のページを印刷する場合は、排出したカット紙を取り除き、新しいカット紙をセットし、吸入させてください。

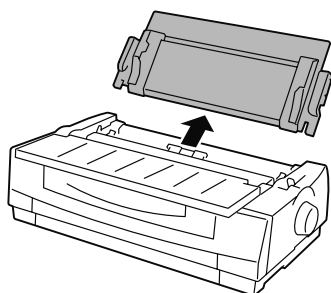
連続紙に印刷する

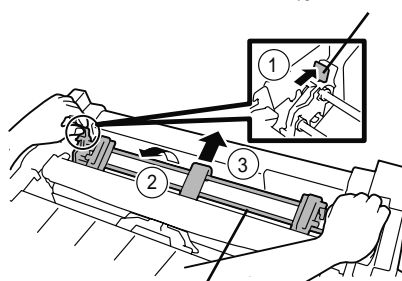
連続紙に印刷するときは、トラクタユニットを使用します。このトラクタユニットは付け替えることによって、リアトラクタまたはトップトラクタとして使用することができます。トップトラクタは複写式連続紙やラベル紙に印刷するときに使用します。

リアトラクタ

トップトラクタ

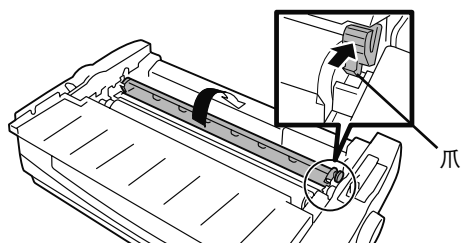
トラクタユニットの付け替え方

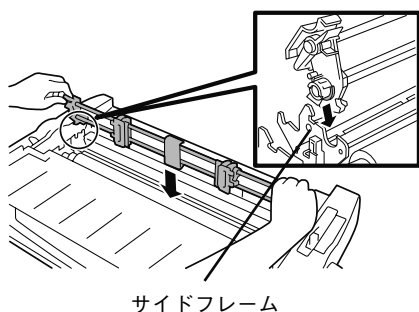
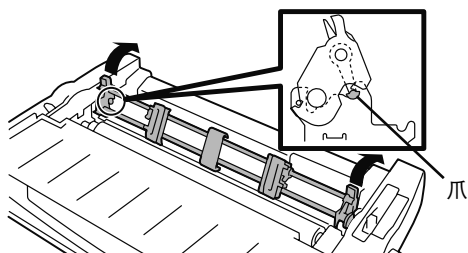
トラクタユニットの付け替え方を説明します。工場出荷時は、リアトラクタとしてプリンタの後部に取り付けられています。

トップトラクタとして取り付ける

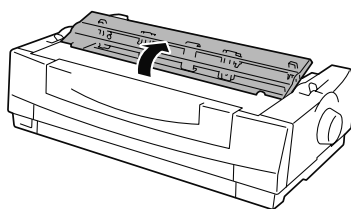
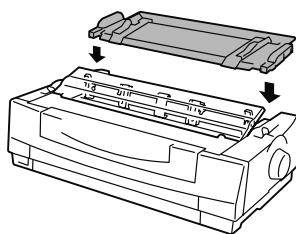
1. **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**
2. **キャノピを開ける（15ページ参照）。**
3. **トップシートガイドを取り外す。**

4. **トラクタユニットを取り外す。**

リアトラクタとして取り付けられているトラクタユニットの左右についている緑色のレバーを押しながら、手前に軽く引き上げ、トラクタユニットを奥側上方に持ち上げてプリンタ本体から取り外します。

❺ フィードローラユニットを後ろへ倒す。

フィードローラユニットの左右のタブを押しながらフィードローラユニットを固定している爪を外し、手前側から押し上げて、後ろへ倒します。

❻ トラクタユニットをトップトラクタとして取り付ける。

① 両端のサイドフレームの凹みにトラクタユニットを合わせて垂直に入れます。

② 左右の緑色のレバーを押しながらトラクタユニットを後へ倒し、手を離します。左右の緑色の爪の部分がサイドフレームに引っかかれば取り付け完了です。

チェック

トラクタユニットが確実に固定されたことを確認してください。固定されていないと用紙が送られません。

❼ キャノピをトラクタユニットにかぶせる。

❽ トップシートガイドを水平に取り付ける。

チェック

トップシートガイドを水平に取り付ける場合、トラクタユニットをトップトラクタとして使用するときと、リアトラクタとして使用するときとでは取り付け位置が異なります。

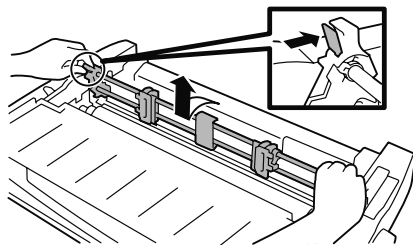
リアトラクタとして取り付ける

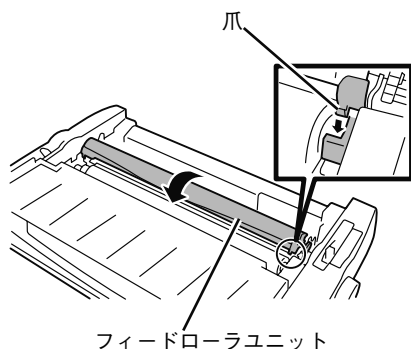
❶ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

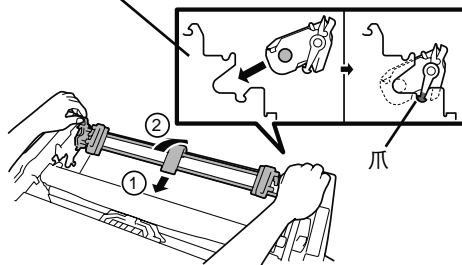
❷ **キャノピを開ける（15ページ参照）。**

❸ **トップシートガイドを取り外す（27 ページ参照）。**

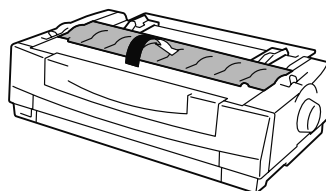
❹ **トップトラクタとして取り付けられているトラクタユニットを取り外す。**

トラクタユニットの上部の左右にある緑色のレバーを押しながら、手前に回し、上に持ち上げます。

❺ **フィードローラユニットを手前に回し、左右の爪がロックするまで上から押し込む。**

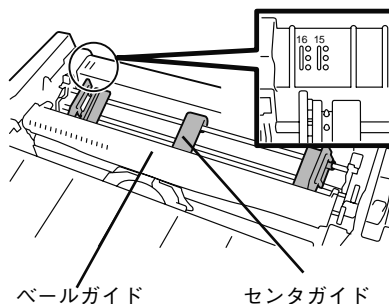
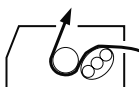
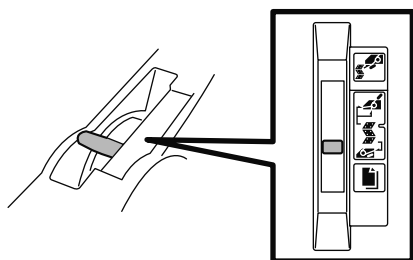
必ず左右ともロックするまで押し込んでください。用紙づまりが発生する場合があります。

❻ **トラクタユニットをリアトラクタとして取り付ける。**

プリンタ後部の両端のサイドフレームに、トラクタユニットを奥までしっかりとすべり込ませ、後に倒します。爪の部分がサイドフレームに引っ掛かっていることを確認してください。

トラクタユニットが確実に固定されたことを確認してください。固定されていないと用紙が送られません。

❼ **トップシートガイドを水平に取り付け、キャノピを閉める。**

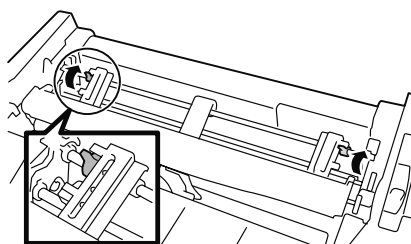
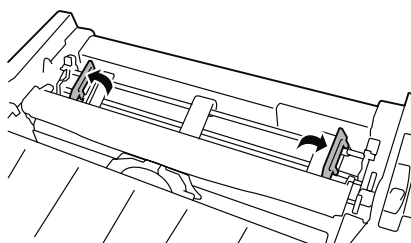
トップシートガイドの取り付け位置については28ページを参照してください。

リアトラクタへの連続紙のセット

重要

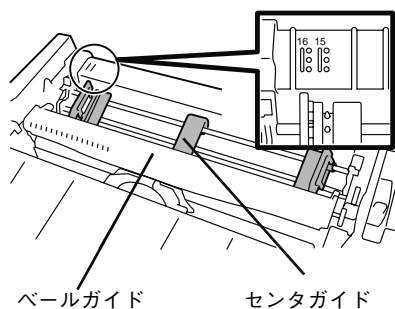
- 用紙幅127～406.4mm（5～16インチ）の連続紙をご使用ください。
- 連続紙は、左側に合わせてセットしてください。
- 連続紙の用紙幅が381mm（15インチ）以下の場合は「15」、406.4mm（16インチ）の場合は「16」のマークに合わせて用紙の左端をセットしてください。

リアトラクタでの給紙方法は後ろからになります。

❶ **給紙選択レバーをリアトラクタ（手前から2番目）にする。**

❷ **セットする用紙の厚さに合わせて、用紙厚さセットレバーを適切な位置に動かす（14ページ参照）。**

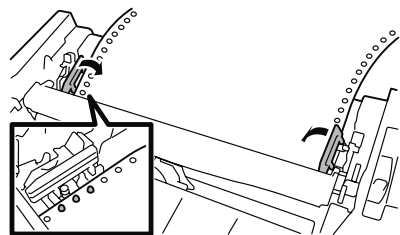
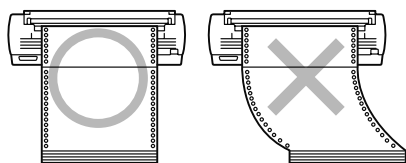
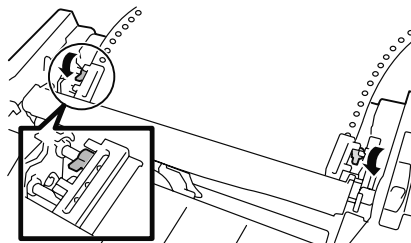
MultiImpact 201MAの場合のみ、セットします。

❸ **キャノピを開けてトップシートガイドを取り外す（15 、27ページ参照）。**

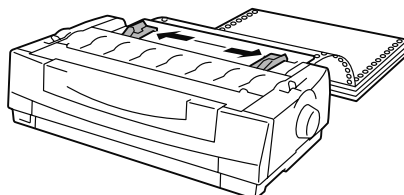
❹ **左右のトラクタの緑色のロックレバーを引き上げてロックを解除する。**

❺ **左右のトラクタカバーを開ける。**

❻ **ベールガイド上の目盛り（カラムスケール）を使って、左右のトラクタを連続紙の幅に合わせる。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動させる。**

リアパネル上に381mm（15インチ）および406.4mm（16インチ）幅の連続紙セット位置が刻印されています。

連続紙の用紙幅が381mm（15インチ）以下の場合は「15」、406.4mm（16インチ）の場合は「16」のマークに合わせて用紙の左端をセットしてください。

❼ **連続紙の印刷面を下にしてセットし、トラクタカバーを閉める。**

トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンにはめ込み、トラクタカバーを閉めます。

セットする連続紙のストック分は、リアトラクタの連続紙セット位置に対して鉛直線上で、プリンタ本体と平行にしてください。

❽ **連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決め、左右のロックレバーを手前側にロックする。**

❾ **トップシートガイドを水平の状態に取り付ける（28ページ参照）。**

❿ **キャノピを閉める。**

⓫ **トップシートガイド上の左右のペーパセットピースを両端いっぱいに広げる。**

⓬ **電源をONにする。**

電源ランプと用紙ランプが点灯します。

⓭ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

連続紙が自動的に吸入され、用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

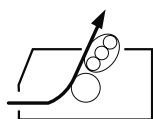
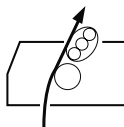
ここで、連続紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」（38ページ）をご覧ください。

これでプリンタは印刷データをコンピュータから受信し、連続紙に印刷できる状態になりました。

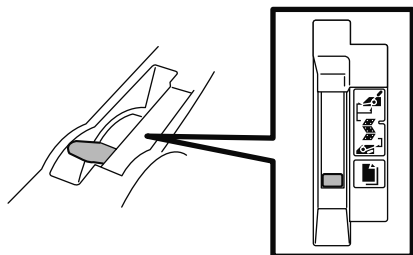
印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

トップトラクタへの連続紙のセット

トップトラクタは、複写式の連続紙、ラベル紙などに印刷するときに使用します。トップトラクタでの給紙経路は2種類あります。使用環境に合わせて使い分けてください。

前から給紙

底から給紙

底からの給紙には、専用のプリンタ卓（オプション）をお使いください。

次の方法で連続紙をセットしてください。

❶ 給紙選択レバーをカット紙（手前）にセットする。

❷ 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯し、ディスプレイに“フロント　マタハ　ボトム　ニ　ヨウシヲ　セット　シテクダサイ”と表示されます。

“フロント　マタハ　ボトム　ニ　ヨウシヲ　セット　シテクダサイ”という表示は前または底から給紙できるという意味です。これはトラクタがトップトラクタとして取り付いており、給紙選択レバーがカット紙になっているときに表示されます。表示中はカット紙が使えません。

❸ セットする連続紙の厚さに応じて、用紙厚さセットレバーを適切な位置に動かす（14ページ参照）。

MultiImpact 201MAのみ。

❹ **使用する給紙経路に合わせて連続紙を挿入する。**

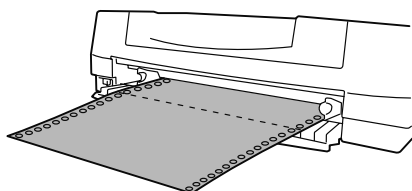
用紙は突き当たるまで挿入してください。用紙が挿入されると、用紙ランプが消灯し、直ちに用紙が吸入されます。

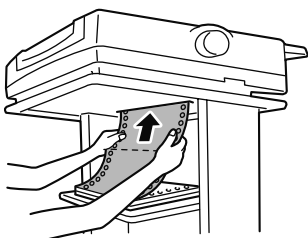
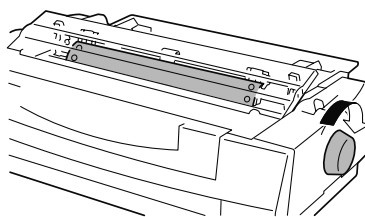
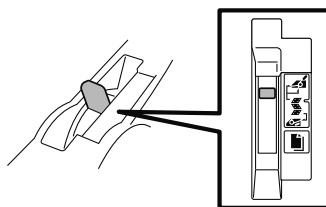
- 幅の狭い用紙を吸入する場合は、用紙を左端に寄せてから吸入してください。
- 用紙が吸入されるとディスプレイに“レバーヲ　トップトラクタ　ニ　モドシテクダサイ”と表示されますが、給紙選択レバーをトップトラクタにすれば消えます。

<前から吸入するときは>

① フロントカバーを開けます（25ページ参照）。

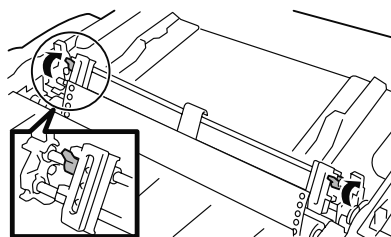
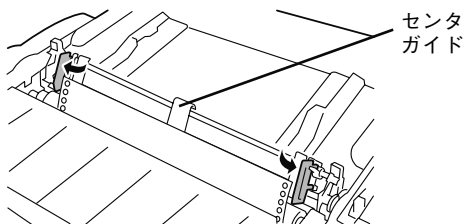
② フロントシートガイドの左右のペーパセットピースを両端いっぱいに広げます（25ページ参照）。

③ 印刷したい面を上にして、用紙を挿入すると、自動的に吸入されます。

<底から吸入するときは>

印刷したい面を手前にして、プリンタの底から用紙を挿入すると、自動的に吸入されます。

❺ **プラテンノブを回して、用紙をトラクタの高さまで引き上げる。**

❻ **給紙選択レバーをトップトラクタ（手前から3番目）にする。**

❼ **キャノピを開ける（15ページ参照）。**

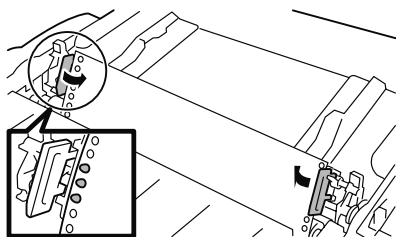
電源をONにしたままキャノピを開けると、ディスプレイに“カバーオープン”と表示されます、キャノピを閉めれば（手順14）表示が消えます。

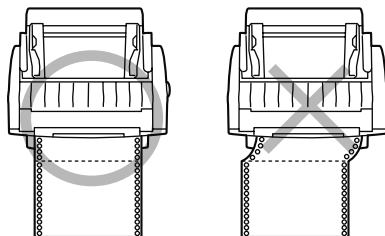
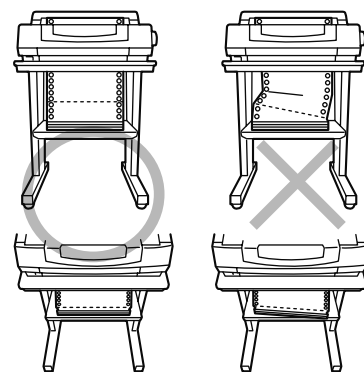
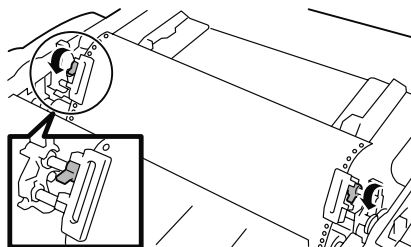
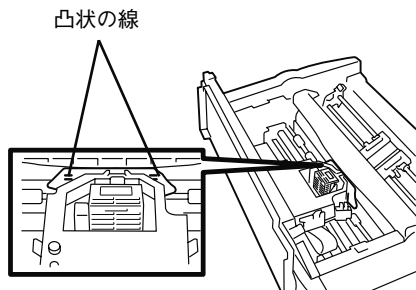
❽ **左右のトラクタの緑色のロックレバーを上げてロックを解除する。**

2 用紙の取り扱い

❾ **用紙幅に合わせてトラクタを移動させ、左右のトラクタカバーを開ける。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動させる。**

チェック

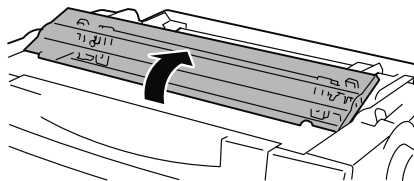
連続紙は、左端に合わせてセットしてください。

❿ **連続紙をセットし、トラクタカバーを閉める。**

トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンにはめ込み、トラクタカバーを閉めます。

セットする連続紙のストック分は、トップトラクタの連続紙セット位置に対して鉛直線上で、プリンタ本体と平行にしてください。

● 前面にストックする場合

● 底面にストックする場合

⓫ **連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを下げてロックする。**

⑫ **第1印刷行はカードホルダの左右にある2本の凸状の線の間にくるので、位置が合わない場合はプラテンノブを回して調整する（手順5参照）。**

⑬ **トップシートガイドを水平な状態にして（28ページ参照）、左右のペーパセットピースを両端いっぱいに広げる。**

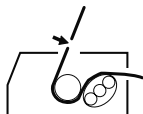
⑭ **キャノピをトップトラクタにかぶせる。**

ディスプレイの“カバーオープン”が消えます。

⑮ **［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを点灯させる。**

これでプリンタは印刷データをコンピュータから受信し、連続紙に印刷できる状態になりました。

- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。
- トップトラクタで印刷するときは、カット機能は使用できないため、プラテンノブを使って用紙を送り、カットします。
- トップトラクタにすると、ハガキ印刷モード、［吸入/退避］スイッチ、［排出/カット］スイッチおよび用紙吸入位置の微調整機能は無効になります。

連続紙のカット

使用している連続紙が坪量46.5～81.4g/m^2（連量40～70kg）の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。トップトラクタで印刷しているとき、またはカット機能を使わないで連続紙をカットするときには、プラテンノブを使って用紙を送り出してからカットしてください。

✔チェック

- カット機能とは、連続紙をカット位置（ミシン目がキャノピの先端にそろう位置）まで送り出し、カット後、次ページの先頭位置（用紙の吸入位置）まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙をむだなく使用することができます。プラテンノブを使って印刷開始位置を調整された場合は、カット機能使用後に、[吸入/退避] スイッチを押して連続紙を再吸入してください。
- カット機能を使うためには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定方法はオンラインマニュアルのメニューモードまたはソフトウェアマニュアルのプリンタドライバを参照してください。
- 印刷終了後、トラクタユニットにかかっている連続紙が残り少ない場合は、カット機能は働きません。
- トップトラクタで印刷しているときは、排出/カット機能は動作しません。

カット機能を使う

❶ **[排出/カット] スイッチを押す。**

連続紙がカット位置まで送られます。

カット位置の微調整が必要な場合は❷～❹の手順で調整してください

[排出/カット] スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。

❷ **[印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **[微調] スイッチを押す。**

ディスプレイに“カットイチ　ビチョウ　±XX.Xmm”と表示されます。

ディスプレイ下段、右端に表示される＊は、現在設定されている値であることを示します。

この状態で、[▲] スイッチまたは [▼] スイッチを押して、ミシン目がキャノピの先端にくるように調節します。

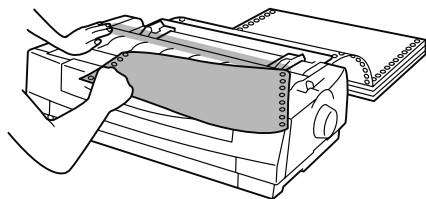
[▲] スイッチと [▼] スイッチの機能は以下の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
[▲] スイッチ	約0.4mm（2/120インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
[▼] スイッチ	約4.2mm（20/120インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

- 微調整時の用紙送りには順方向、逆方向とも限界位置があります。調整範囲は約－4.2mm(－20/120インチ）～約4.2mm（20/120インチ）です。
- 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

❹ **［微調］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押して、設定した値を記憶する。**

❺ **用紙をカットする。**

キャノピの先端が用紙カッタになりますので、ミシン目をキャノピの先端に合わせ、キャノピを押さえせながら連続紙を手前に引っ張ってカットします。

❻ **連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。**

自動動作を待たなくても、もう一度［排出/カット］スイッチを押せば、用紙がすぐに戻ります。

［排出/カット］スイッチを押して連続紙をカット位置に送ってから、またはカット位置の微調整を終了してから15秒経過すると、連続紙を自動的に逆送りし、次の印刷位置に戻します。

自動カット位置送り機能を使う

印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。用紙を送り出した後、約15秒*経過すると、連続紙を自動的に逆送りし、次の印刷位置に戻します。メモリスイッチ3-5で機能のON、OFFを選択します。用紙送り量はメモリスイッチ4-3で設定します。詳しくはオンラインマニュアルの「メモリスイッチ設定を変更する」を参照してください。

＊　スペシャルメニューモードで設定変更が可能です。

用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、吸入位置を微調整することができます。吸入位置はカット紙、連続紙、はがきに対して個別に設定できます。たとえばカット紙吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのカット紙の吸入位置になりますが、連続紙やはがきの吸入位置には影響しません。

トラクタユニットをトップトラクタとして使用しているときおよびトラクタフィーダ（オプション）を使用しているときは、この機能は使えません。

❶ **用紙をセット・吸入する。**

カット紙はシートガイドから自動的に吸入されます。連続紙の場合は用紙のセット後、［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入します。

❷ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。**

印刷可ランプが消灯します。

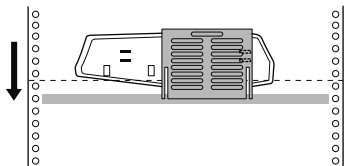
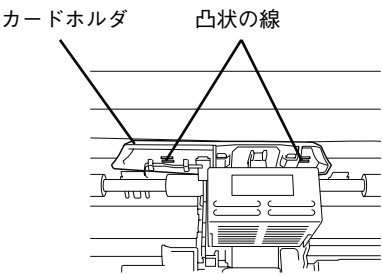
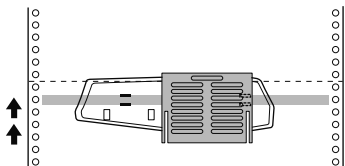
❸ **［微調］スイッチを押して微調モードにする。**

ディスプレイには以下のように表示されます。

キ	ュ	ウ	ニ	ュ	ウ	イ	チ		ヒ	゛	チ	ョ	ウ		
		X	X	.	X	m	m								＊

❹ **［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを使って吸入位置を微調整する。**

［▼］スイッチで用紙を多めに戻してから、［▲］スイッチで微調整するようにしてください。

ディスプレイ下段、右端に表示される＊は、現在設定されている値であることを示します。

（MultiImpact 201MAの場合）

［▲］スイッチと［▼］スイッチの機能は以下の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
［▲］スイッチ	約0.4mm（2/120インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
［▼］スイッチ	約4.2mm（20/120インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

❺［微調］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押す。

新規に設定した吸入位置がプリンタに記憶されます。

［▲］スイッチを押し続けると約0.4mm（2/120インチ）単位で連続して用紙を送ります。

用紙吸入の基準位置は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から第 1 印刷行までの距離
カット紙（シートガイド使用時）	25.4mm（文字下端）
連続紙	25.4mm（文字下端）
はがき	11.5mm（文字中央まで）
カット紙（シートフィーダ使用時）	9.73mm（文字下端）

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第１印刷行（文字下端）までの距離がカット紙、連続紙共に8.5～27.9mmになる範囲です。
- 微調整後の用紙吸入位置を記憶するかしないかは、メモリスイッチ3-3で切り替えることができます（56ページ参照）。

カット紙と連続紙の切り替え印刷

吸入されている連続紙は、［吸入/退避］スイッチを押すことにより吸入前の位置（連続紙のセット位置）まで戻すことができます。この機能を使えば、セットした連続紙を取り除かずにカット紙に印刷することができます。カット紙と連続紙を交互に印刷したいときに便利な機能です。

トラクタユニットをトップトラクタとして使用しているときおよびトラクタフィーダ（オプション）を使用しているときは、この機能は使えません。

連続紙からカット紙への切り替え

連続紙への印刷が終わってカット紙への印刷に切り替えるときは、連続紙の先端をセット位置まで戻してからカット紙をセットします。

1. **印刷の終了した連続紙をそのページまでカットする（「連続紙のカット」（36ページ）参照）。**
2. **［吸入/退避］スイッチを押す。**

   連続紙はセット位置に戻ります（連続紙の一時退避）。
3. **給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にする。**
4. **カット紙をセットする（「カット紙のセット」（25ページ）参照）。**

   約2秒後、カット紙が吸入され、印刷可ランプが点灯します。

カット紙から連続紙への切り替え

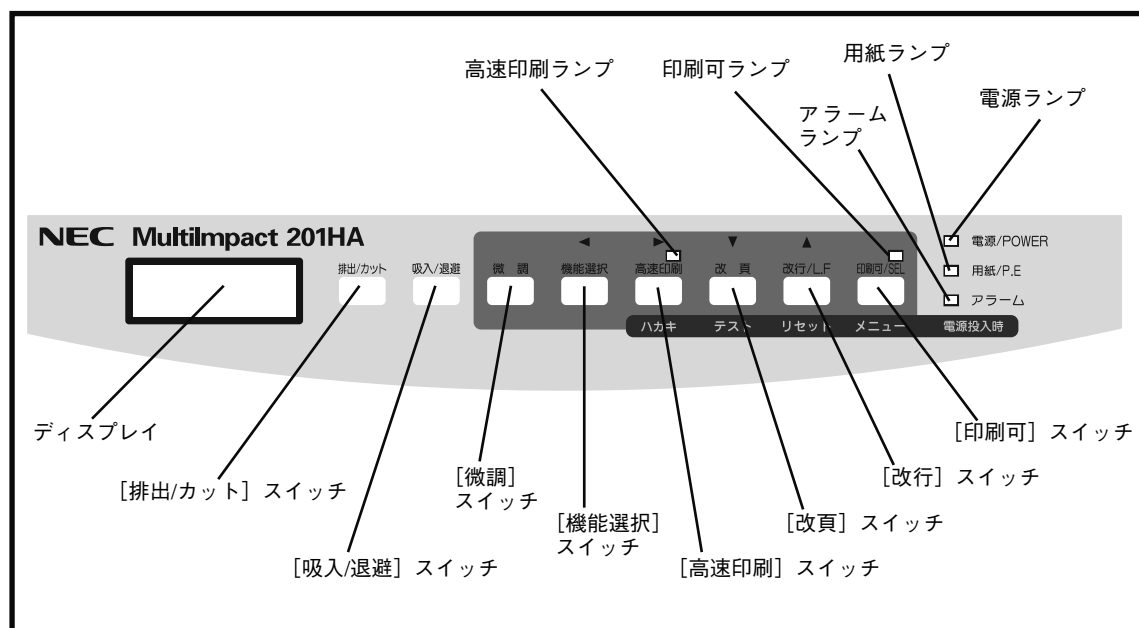
カット紙への印刷が終わって連続紙への印刷に切り替えるときは、カット紙を排出してから一時退避させておいた連続紙を吸入します。

1. **カット紙が吸入されている場合は、［排出/カット］スイッチを押して、排出する。**
2. **給紙選択レバーをリアトラクタ（手前から2番目）またはフロントトラクタ（いちばん奥）にする。**
3. **トップシートガイドが立っているなら水平にし、ペーパセットピースを両端いっぱいに広げる。**
4. **［吸入/退避］スイッチを押す。**

   連続紙が吸入され、印刷可ランプが点灯します。

3章
メニューモードで設定変更する

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンタの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネル上には、ディスプレイと8個のスイッチと5個のランプがあります。メニューモードでプリンタのさまざまな設定をしたり、変更したりする際にスイッチを使います。ディスプレイとランプはプリンタの状態やエラーを知らせます。ディスプレイ、スイッチ、ランプの機能については次ページ以降をご覧ください。

操作パネル（MultiImpact 201HAの場合）*

* スイッチ、ランプの名称はMultiImpact 201MAも同じです。

スイッチの基本機能

操作パネルには8個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの基本的な機能について説明します。

<table>
<tr><td>[印刷可]
スイッチ</td><td>［印刷可］スイッチを1回押すごとにセレクト状態（データ受信して印刷できる状態、印刷可ランプ点灯）とディセレクト状態（データ受信せずに印刷しない状態、印刷可ランプ消灯または点滅）に交互に切り替えます。
• 印刷中にこのスイッチを押すと、印刷が一時的に停止します。
• もう一度押すと印刷が再開します。</td></tr>
<tr><td>[改行]
スイッチ</td><td>改行スイッチを1回押すごとに、用紙を1行分送ります。スイッチを1秒以上押し続けると、連続して用紙を送ることができます。
• 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
• 1行は約4.2mm（1/6インチ）です。
• 逆方向改行設定でも用紙は順方向に送られます。</td></tr>
<tr><td>[改頁]
スイッチ</td><td>あらかじめ設定された用紙長分の改行を行います。1回押すごとに設定された用紙長に従って次ページの第1印刷行へ改行します。
• 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
• 縮小モード中は、縮小率を掛けた改行幅で改行されます。
• 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。</td></tr>
<tr><td>[機能選択]
スイッチ</td><td>ディセレクト状態でメニューモードへ切り替えます。
メニューモードについては、オンラインマニュアルを参照してください。</td></tr>
<tr><td>[高速印刷]
スイッチ</td><td>高速印刷の選択、解除を行います。高速印刷を選択すると、印刷速度を上げて印刷時間を短縮できます。
• スイッチを押すごとに高速印刷の選択／解除を行います。
• 高速印刷が選択されているときは高速印刷ランプが点灯します。
• 高速印刷を選択すると、プリンタは通常の印刷データを1ドットおきに印刷するので、印刷品質は通常印刷より劣ります。

✔チェック
印刷中はこのスイッチを押さないでください。高速印刷を選択するときや解除するときは、印刷が終了していることを確認してからスイッチを押します。</td></tr>
<tr><td>[微調]
スイッチ</td><td>吸入位置およびカット位置の微調整を行います。
• 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
• スイッチを押すと微調モードに入ります。</td></tr>
<tr><td>[排出 / カット]
スイッチ</td><td>用紙の排出またはカットを行います。
• 連続紙使用時に［排出/カット］スイッチを押すと、連続紙をカット位置まで送ります。もう一度押すと、連続紙を吸入位置まで戻します（逆方向）。
• カット紙使用時に［排出/カット］スイッチを押すと、用紙を排出します。</td></tr>
<tr><td>[吸入 / 退避]
スイッチ</td><td>用紙の吸入または退避（排出）を行います。選択した給紙方法と用紙の状態によって、プリンタの［吸入/退避］の動作が異なります。各設定および用紙の状態での［吸入/退避］スイッチの機能については、下の表を参照してください。</td></tr>
</table>

[吸入/退避］スイッチの機能

給紙方法	用紙の状態	動作
トップトラクタ	用紙あり	動作せず
	用紙なし	動作せず
リアトラクタ フロントトラクタ	用紙あり	連続紙の退避
	用紙なし	連続紙の吸入
シートガイド	用紙セット後	用紙吸入*
	用紙あり	用紙排出
	用紙なし	動作せず
シートフィーダ	用紙あり	用紙排出後、吸入
	用紙なし	用紙吸入

＊　メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がON（マニュアル設定）時の動作となります。

スイッチの応用機能

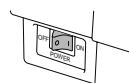
スイッチには「改行する」、「用紙を排出する」などの基本機能の他にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

メニューモード、スペシャルメニューモード

MultiImpact 201HA/201MAには、プリンタの内部設定を変更するための2つのモードがあります。

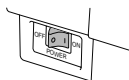
- メニューモード：比較的頻繁に設定変更を行う項目（書式設定）
- スペシャルメニューモード：あまり設定変更を行わない項目（メモリスイッチ設定など）

ディセレクト状態になっているときに、[機能選択]（◀）スイッチを押すとメニューモードに入ることができます。

[印刷可]スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにするとスペシャルメニューモードに入ることができます。

詳しくはオンラインマニュアルの「メニューモードの入り方と終了方法」または「スペシャルメニューモードの入り方と終了方法」を参照してください。

ハガキ印刷モード

はがきに適した印刷位置に自動的にはがきを吸入します。

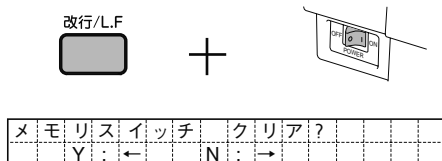
[高速印刷]スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにします。

はがきの印刷はオンラインマニュアルをご覧ください。

設定内容のリセット

メニューモード、またはスペシャルメニューモードで設定した内容を工場設定値にリセットします。

❶ **［改行］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。**

ディスプレイに“メモリスイッチ　クリア？　Y:← N:→”とリセットの確認を促すメッセージが表示されます。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		ク	リ	ア	?				
		Y	:	←			N	:	→						

❷ **［機能選択］（◀）スイッチを押す。**

設定内容が工場設定値にリセットされます。

設定内容のリセットを中止したい場合は［高速印刷］（▶）スイッチを押します。

テスト印刷

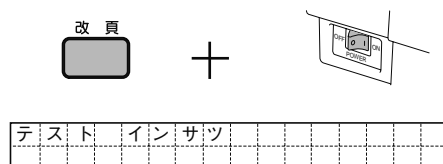
インクリボンカートリッジを交換した後、またはプリンタが故障して、その処置が済んだ後、動作確認をするためにテスト印刷を行います。

❶ **用紙をセットする。**

用紙のセット方法については「2章 用紙の取り扱い」（23ページ）をご覧ください。

❷ **［改頁］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

ディスプレイに“テスト　インサツ”と表示されテスト印刷が開始されます。

テ	ス	ト		イ	ン	サ	ツ								

テスト印刷を中止したい場合は［印刷可］スイッチを押します。

テスト印刷を終了したい場合は［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押します。

強制リセット

強制リセットは電源ON直後の状態にプリンタを戻します。強制リセットを行うとプリンタ内にデータが残っていた場合は消去します。

［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押します。

プリンタは強制的に電源ON直後の状態に戻ります。

カバーオープン、紙づまり等のアラームおよび復旧不可能なエラー発生時は無効です。

ランプの表示

操作パネルには5個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンタの状態を知らせます。

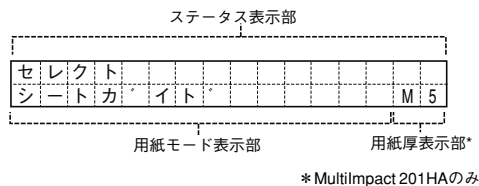
ランプ	色	状態	表示の意味
電源ランプ	緑	点灯	プリンタの電源がONになっています。
		消灯	プリンタの電源がOFFになっています。
用紙ランプ	赤	点灯	用紙がセットされていないまたは用紙が残り少なくなっている状態です。
		点滅	アラームランプとの同時点滅で用紙ジャム、連続紙ジャム、連続紙退避エラーなどの復旧可能エラー状態です。
		消灯	用紙がセットされている状態です。
高速印刷ランプ	橙	点灯	高速印刷モード状態です。
		消灯	通常印刷モード状態です。
印刷可ランプ	緑	点灯	プリンタがセレクト状態（印刷可能状態）です。
		点滅	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）で、未印刷のデータがプリンタ内に残っています。
		消灯	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）です。
アラームランプ	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生しました。「修理の依頼について」（70ページ）を参照した後、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。
		点滅	復旧可能なエラーが発生しました。「エラー表示が出ているときは」（64ページ）を参照してください。

ディスプレイの表示

ステータス表示部

セ レ ク ト
シ ー ト カ ゛ イ ト ゛　M 5

用紙モード表示部　用紙厚表示部*

＊MultiImpact 201HAのみ

操作パネルのディスプレイには、右図のようにプリンタの状態やアラーム時の解除方法およびプリンタのメニュー設定時の項目などが表示されます。ここでは、プリンタが通常の状態での表示とその他の状態での表示について記載しています。アラームの表示については「エラー表示が出ているときは」(64ページ)をご覧ください。

ディスプレイ通常表示

表示の種類	表示	表示の意味
電源スイッチをONまたは初期化動作中の表示	イニシャライズ　チュウ	プリンタを初期状態に戻しています。
印刷可能状態の表示	セレクト	プリンタが印刷可能な状態になっています。
印刷不可状態の表示	ディセレクト	プリンタが印刷不可能な状態になっています。
テスト印刷中の表示	テスト　インサツ	テスト印刷中です。
HEXダンプ中の表示	HEXダンプ	HEXダンプ印刷モードになっています。
用紙モードに関する表示	シートガイド	給紙方法がシートガイドになっています。
	シートガイド　ハガキ	給紙方法がシートガイドのハガキ印刷モードになっています。
	シートフィーダ	給紙方法がシートフィーダになっています。
	シートフィーダ　ハガキ	給紙方法がシートフィーダのハガキ印刷モードになっています。
	フロントトラクタ	給紙方法がフロントトラクタになっています。
	リアトラクタ	給紙方法がリアトラクタになっています。
	トップトラクタ	給紙方法がトップトラクタになっています。
用紙厚に関する表示（MultiImpact 201HAのみ）	（表示なし）	用紙厚調整の設定が「オート」になっています。自動的に用紙厚を検出します。
	M1	用紙厚が手動で設定されています。複写式用紙の枚数に合わせてM1（1枚）～M5（5枚）の範囲で数値が設定されています。 ※ご使用の複写式用紙の枚数に設定されていることをご確認ください。設定が適正でない場合、印刷汚れや印刷かすれ、印刷ヘッドの故障の原因となることがあります。 ※本製品の最大複写枚数は5枚です。「複写枚数と坪量（連量）」（82ページ）を参照してください。
	M2	
	M3	
	M4	
	M5	

その他の状態での表示

表示の種類	表示	表示の意味
用紙吸入位置の微調整	キュウニュウイチ　ビチョウ XX.　Xmm	吸入位置の微調整モード中です。XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
カット位置微調整	カットイチ　ビチョウ ±XX.　Xmm	連続紙カット位置微調整モード中です。XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です
連続紙カット位置	ヨウシ　カット　デキマス	連続紙をカットできる位置になっています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニューモードについては「メニューモード」（49ページ）をご覧ください。	

メニューモード

ここでは、メニューモードのメニューツリーを載せています。メニューモードの変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法および設定方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

メニューツリー

これらの画面は「ショシキ０」のときは表示されません。

（前ページより）

レフトマージンハバ
0ケタ *

レフトマージンハバ
1ケタ

レフトマージンハバ
135ケタ

［印刷可］
スイッチを押す

ライトマージンハバ
136ケタ *

ライトマージンハバ
1ケタ

ライトマージンハバ
135ケタ

［印刷可］
スイッチを押す

キュウニュウイチ TRフロント
25.4mm（1インチ） *

キュウニュウイチ TRフロント
XX.Xmm

キュウニュウイチ TRフロント
9.7mm

キュウニュウイチ TRフロント
12.7mm（1/2インチ）

［印刷可］
スイッチを押す

キュウニュウイチ TRリア
25.4mm（1インチ） *

キュウニュウイチ TRリア
XX.Xmm

キュウニュウイチ TRリア
9.7mm

キュウニュウイチ TRリア
12.7mm（1/2インチ）

［印刷可］
スイッチを押す

キュウニュウイチ CSG
25.4mm（1インチ） *

キュウニュウイチ CSG
XX.Xmm

キュウニュウイチ CSG
9.7mm

キュウニュウイチ CSG
12.7mm（1/2インチ）

［印刷可］
スイッチを押す

キュウニュウイチ SF
9.7mm *

キュウニュウイチ SF
12.7mm（1/2インチ）

キュウニュウイチ SF
25.4mm（1インチ）

キュウニュウイチ SF
XX.Xmm

［印刷可］
スイッチを押す

D（下図へ）

D

キュウニュウイチ ハガキ
11.5mm *

キュウニュウイチ ハガキ
12.7mm（1/2インチ）

キュウニュウイチ ハガキ
25.4mm（1インチ）

キュウニュウイチ ハガキ
XX.Xmm *

［印刷可］
スイッチを押す

ショシキ クリア

［改行］スイッチまたは
［改頁］スイッチを押す

ショシキ クリア
クリアチュウ

書式初期化後、
自動的に戻る

［印刷可］
スイッチを押す

セッテイ ジッコウ

［印刷可］
スイッチを押す

［改行］スイッチまたは
［改頁］スイッチを押す

メモリ書き込み

セッテイ チュウシ

［改行］スイッチまたは
［改頁］スイッチを押す

メモリスイッチに
書き込まない

［印刷可］
スイッチを押す

E（前ページ
下図へ）

F

メニューモードの終了

スペシャルメニューモード

ここでは、スペシャルメニューモードのメニューツリーを載せています。スペシャルメニューモードの変更できる設定項目、スペシャルメニューモードの入り方と終了方法および設定方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

メニューツリー

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す
図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す
図中の ↑は［改頁］スイッチを押す
［高速印刷］スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW1→2→3→4→5→1→2→・・・」と昇順に変化します。
［機能選択］スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW5→4→3→2→1→5→4→・・・」と降順に変化します。
A
メモリスイッチ セッテイ キノウ
［機能選択］スイッチ または［高速印刷］スイッチ
［印刷可］スイッチを押す
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
P
メモリスイッチ セッテイ キノウ
MSW1-1 00000000
MSW1-1 10000000
MSW1-2 00000000
MSW1-2 01000000
MSW1-3 00000000
MSW1-3 00100000
MSW1-4 00000000
MSW1-4 00010000
MSW1-5 00000000
MSW1-5 00001000
MSW1-6 00000000
MSW1-6 00000100
MSW1-7 00000000
MSW1-7 00000010
MSW1-8 00000000
MSW1-8 00000001
MSW2-1 01000000
MSW2-1 11000000
MSW2-2 01000000
MSW2-2 00000000
MSW2-3 01000000
MSW2-3 01100000
MSW2-4 01000000
MSW2-4 01010000
MSW2-5 01000000
MSW2-5 01001000
MSW2-6 01000000
MSW2-6 01000100
MSW2-7 01000000
MSW2-7 01000010
MSW2-8 01000000
MSW2-8 01000001
MSW3-1 00000000
MSW3-1 10000000
MSW3-2 00000000
MSW3-2 01000000
MSW3-3 00000000
MSW3-3 00100000
MSW3-4 00000000
MSW3-4 00010000
MSW3-5 00000000
MSW3-5 00001000
MSW3-6 00000000
MSW3-6 00000100
MSW3-7 00000000
MSW3-7 00000010
MSW3-8 00000000
MSW3-8 00000001
MSW4-1 00110000
MSW4-1 10110000
MSW4-2 00110000
MSW4-2 01110000
MSW4-3 00110000
MSW4-3 00010000
MSW4-4 00110000
MSW4-4 00100000
MSW4-5 00110000
MSW4-5 00111000
MSW4-6 00110000
MSW4-6 00110100
MSW4-7 00110000
MSW4-7 00110010
MSW4-8 00110000
MSW4-8 00110001
MSW5-1 11000000
MSW5-1 01000000
MSW5-2 11000000
MSW5-2 10000000
MSW5-3 11000000
MSW5-3 11100000
MSW5-4 11000000
MSW5-4 11010000
MSW5-5 11000000
MSW5-5 11001000
MSW5-6 11000000
MSW5-6 11000100
MSW5-7 11000000
MSW5-7 11000010
MSW5-8 11000000
MSW5-8 11000001
［印刷可］スイッチを押す

スペシャルメニューモード終了
ディスプレイは“イニシャライズ゛ チュウ”と表示後、
通常表示に戻る

メモリスイッチ設定モード

このプリンタには40個のメモリスイッチ（MSW）が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態（ON/OFF）を切り替えることにより、プリンタの様々な設定を変更することができます。メモリスイッチとは電源スイッチのように機械的なものではなく、設定内容を電気的に切り替え、記憶するものです。

ここでは、メモリスイッチ設定モードで設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW1	1	各国文字の切り替え	3つのスイッチON/OFFの組み合わせ*により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの文字を切り替えます。		OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	データ受信方法の切り替え	従来互換	高速受信	OFF
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰のみ	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CRのみ	CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	2	シートガイド使用時の用紙なし検出	印刷時検出	常時検出	ON
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	未使用			
	5	HDパイカモード/HSパイカモードの初期設定	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向	片方向	OFF

* MSW1-1～1-3の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります（各国文字の組み合わせ表は次ページにあります）。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW3	1	自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え	再吸入しない	再吸入する	OFF
	2	PCモード／情処モード切り替え	PCモード	情処モード	OFF
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC a、FF、印刷データ＋印刷指令コード	ESC a、FF、LF、US、VT、印刷データ＋印刷指令コード	OFF
	5	自動カット位置送り機能有効／無効	無効	有効	OFF
	6	改頁実行時のセンタリング動作切り替え	センタリングしない	センタリングする	OFF
	7	数字「0」の字体（2バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	印刷ヘッド空打ち防止機能の有効／無効	有効	無効	OFF
	2	未使用			
	3	カット位置送り機能　用紙送り量	固定長	TOF＋固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向の切り替え	片方向	両方向（MSW2-8をOFF　にしてください）	ON
	5	高速印刷モードの初期設定	標準モード	高速印刷モード	OFF
	6	未使用			
	7	未使用			
	8	オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF
MSW5	1	待機モード移行時間の切り替え	15分	1分	ON
	2	待機モード復帰時の初期化動作切り替え	初期化動作する	初期化動作しない	ON
	3	吸入以外のセンタリング位置切り替え	自動検出による	センタリング位置設定による	OFF
	4	用紙左右端検出位置の切り替え	吸入位置の設定による	25.4mm（1インチ）	OFF
	5	用紙切れ判断の切り替え	用紙長設定に従う	用紙最下端付近まで印刷する	OFF
	6	未使用			
	7	未使用			
	8	未使用			

各国文字の組み合わせ表

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

4章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンタの清掃について説明します。清掃は、MultiImpact 201HA/201MAを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

インクリボンカートリッジの交換

印刷が薄くなったときには、次の手順でインクリボンカートリッジを交換してください。

⚠注意 長時間印刷を続けた後は印刷ヘッドが高温になっているため、手を触れると危険です。十分に温度が下がってから作業をするようにしてください。

✔チェック

- 本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジ、インクリボンは使用期限内にお使いください。
- それぞれの可能印刷数は、「付録」の77ページの表をご覧ください。

❶ プリンタの電源スイッチが ON になっていることを確認する。

❷ キャノピとトップカバーを開ける。

中央に印刷ヘッドとカードホルダが移動します。

⚠注意

印刷ヘッドとカードホルダが移動し終わるまでは、プリンタ内部には手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

❸ **カートリッジホルダがプリンタの中央付近に移動したことを確認後、電源をOFFにする。**

⚠ 注意

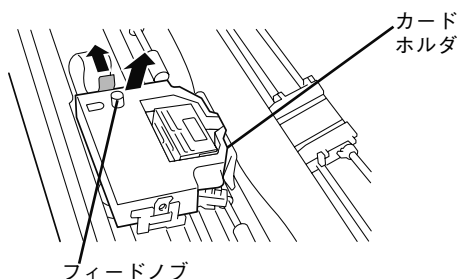
必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたままインクリボンカートリッジを取り付けると、プリンタが突然動作して、けがをするおそれがあります。

❹ **用紙厚さセットレバーをいちばん手前側（10の位置）にする。**

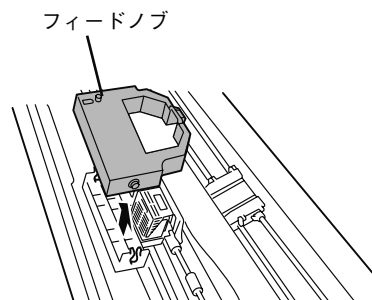
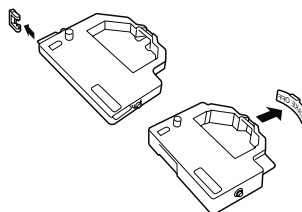
MultiImpact 201MAの場合のみ、セットしてください。

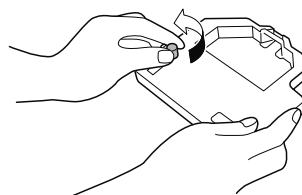
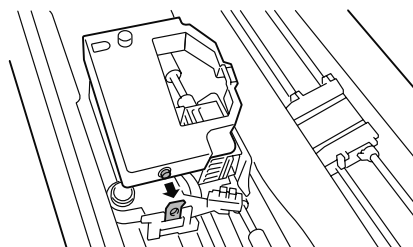
❺ **使い終わったインクリボンカートリッジを取り外す。**

<MultiImpact 201HAの場合>

カートリッジホルダの左側を軽く押し広げるようにして使い終わったインクリボンカートリッジの左の突起を外します。続いてインクリボンを印刷ヘッドとカードホルダの間から抜くように持ち上げながら右の突起を外します。

インクリボンが外れにくいときは、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回しながら取り外してください（手順6を参照）。

<MultiImpact 201MAの場合>

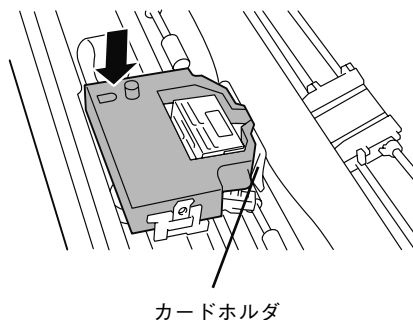
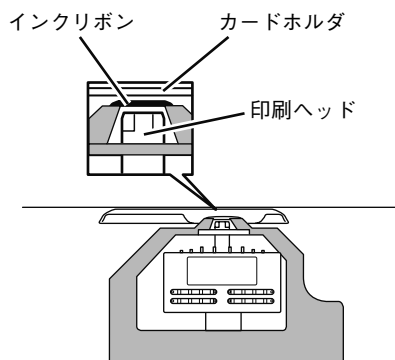
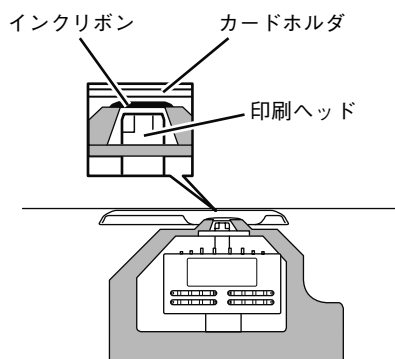
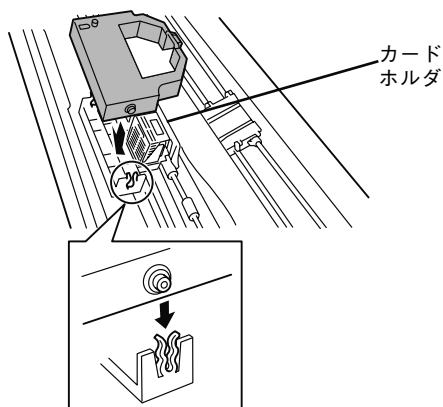
使い終わったインクリボンカートリッジの左右両側を持ち、水平に持ち上げます。

❻ **新しいインクリボンカートリッジに付いている赤色のストッパを外す。新しいカラーインクリボンカートリッジからは保護シートを取り外す。**

❼ **NECロゴのある面を上にしてインクリボンカートリッジを持つ。**

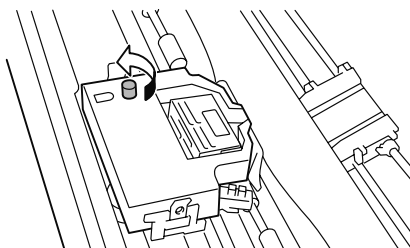
インクリボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回してください。

❽ **インクリボンカートリッジを取り付ける。**

<MultiImpact 201HAの場合>

インクリボンカートリッジの右の突起をカートリッジホルダに差し込みます。

次に、リボンが印刷ヘッドとカートリッジホルダの間に入るようにしながらカートリッジの左側を矢印の方向へ静かに押し込みます。

<MultiImpact 201MAの場合>

インクリボンカートリッジの左右の突起をカートリッジホルダの左右の溝に合わせます。次に、インクリボンが印刷ヘッドとカートリッジホルダの間に入るようにしながらカートリッジ全体を矢印の方向へ静かに押し込みます。

❾ **フィードノブを回してインクリボンが軽く動くことを確認する。**

動かないときはもう一度やり直してください。

❿ **用紙厚さセットレバーを元の位置に戻す。**

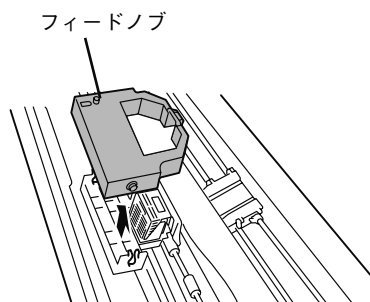
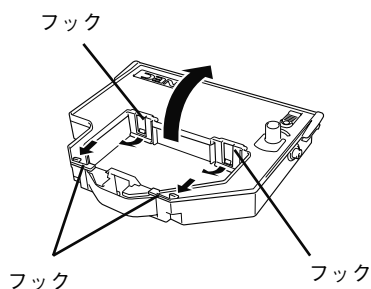
MlultiImpact 201MAの場合のみ、セットしてください。

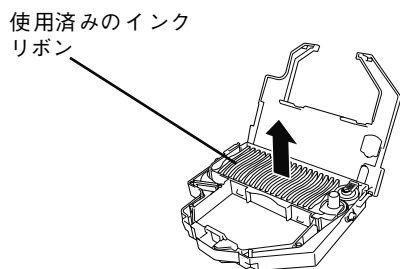
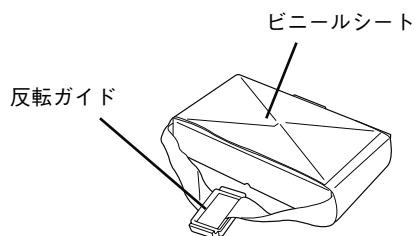
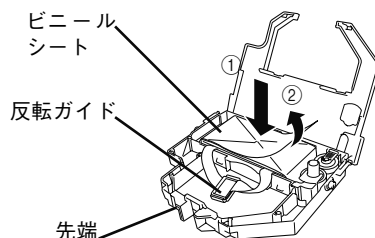
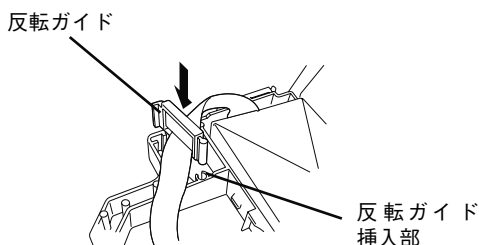
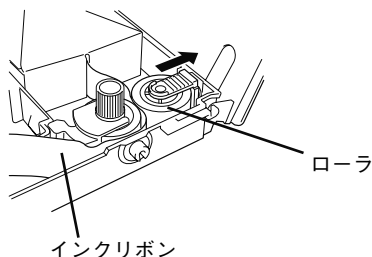
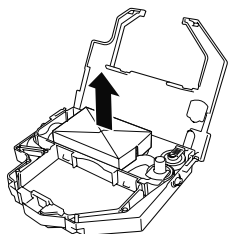
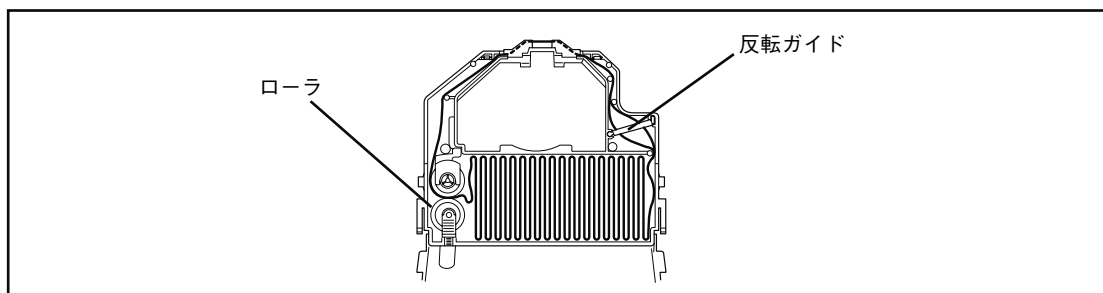
⓫ **トップカバーとキャノピを閉める。**

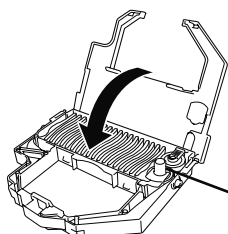
インクリボンの交換方法

MultiImpact 201HA/201MAで使用できるインクリボンカートリッジ（黒）は中のインクリボンを交換できます。。交換の前にカセットに合ったインクリボンかどうかをご確認ください（「消耗品」（12ページ）参照)。次の手順でインクリボンを交換してください。

❶ **インクリボンカートリッジの左右両側を持ち、水平に持ち上げる。**

インクリボンが外れにくいときは、フィードノブを反時計回りに回しながら取り外してください。

❷ **インクリボンカートリッジのふたを軽く押し上げながら、4か所のフックを外してふたを開ける。**

❸ **使用済みのインクリボンをインクリボンカートリッジから抜き出す。**

使い終わったインクリボンは74ページを参照して処理してください。

❹ **新しいインクリボンをビニール袋から取り出し、反転ガイドを引き出す。**

❺ **インクリボンの反転ガイドをインクリボンカートリッジの先端に向けて、インクリボンをインクリボンカートリッジに入れる。①インクリボンを押さえながら、②ビニールシートを矢印方向に静かに抜き取る。**

❻ **反転ガイドを反転ガイド挿入部に入れる。**

❼ **ローラを矢印方向に押し戻しながら、ローラの間にインクリボンを底まで確実に入れる。**

❽ インクリボンを入れた箱の中央部を押し、インクリボンが完全に押し出されたことを確認しながら、箱を静かに取り除く。

インクリボンの経路は次のとおりです。きちんとセットされていることを確認してください。

❾ インクリボンカートリッジのふたを閉め、フィードノブをふたに表示されている矢印方向に回してインクリボンのたるみをなくす。

フィードノブがスムーズに動くことを確認してください。

❿ 使用回数ラベルの詰替回数欄に×印を記入する。

PR-D700XX2-01/PR-D700XX2-11の場合、インクリボンカートリッジに対するインクリボンの交換回数は2回までです。

使用上の注意	1	2
	×	

PR-D201MX2-01の場合、インクリボンカートリッジに対するインクリボンの交換回数は4回までです。

使用上の注意	1	2	3	4
	×			

プリンタの清掃

プリンタをいつまでもきれいな状態で使っていただくために、プリンタの外まわりを定期的に乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、つぎのような方法できれいにしてください。

注意 プリンタを絶対に分解しないでください。感電などの事故の原因となり危険です。

1. **電源を OFF にし、電源コードをコンセントから外す。**
2. **トップシートガイドを取り外す。**
3. **無水エタノールまたは OA クリーナー等を柔らかい布にふくませ、プリンタの汚れた部分を清掃してください。**

チェック

- シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤は使わないでください。材質をいためたり、変色の原因になることがあります。
- コンセント、ケーブル、およびプリンタ内部は絶対に水などでぬらさないようにしてください。内部にゴミや異物があるときは、掃除機で吸い取ってください。

5章
故障かな？と思ったときは

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状、原因、および処置方法を 説明します。また、プリンタ本体、および消耗品の廃棄方法についても記載しています。

エラー表示が出ているときは

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、おもなエラーであればディスプレイの表示からその原因を知ることができます。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです（ディスプレイ表示をアイウエオ順に並べています）。処置を行っても回復しない場合は、プリンタの故障が考えられます。お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。
また、ディスプレイにエラー表示が出ていないのに印刷できない場合は、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（66ページ）を参照してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容（ランプの状態）	アラームの詳細と処置方法
イニシャライズ　チュウ	プリンタの初期化（全ランプ点灯）	**プリンタの電源をONにしたとき、プリンタの設定を初期化しています。** →　初期化が終わるまでしばらくお待ちください。
カバー　オープン カバー　ヲトジテクダ サイ	キャノピが開いている（アラームランプ点滅）	**キャノピが開いています。** →　キャノピを閉じてください。
データガ　ノコッテイマス インサツカニ　シテクダサイ	印刷されていないデータが残っている（印刷可ランプが点滅）	**まだ印刷されていないデータが残っている状態で、ディセレクト状態（印刷不可）になっています。** →　［印刷可］スイッチを押してセレクト状態にして残りのデータを印刷してください。
データガ　ノコッテイマス ヨウシヲセットシテクダサイ		**まだ印刷されていないデータが残っている状態で、用紙がセットされていません。** →　用紙をセットして残りのデータを印刷してください。
トップトラクタ　ガアリマセン レバーヲモドシテクダサイ	トップトラクタがセットされていないのに、トップトラクタを選択した（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	**トップトラクタがセットされていないのに、トップトラクタを選択しました。** →　給紙選択レバーを元に戻し、電源をOFFにしてから給紙選択レバーをトップトラクタにし、トップトラクタを取り付け、電源をONにしてください。
フロント　ノ ヨウシヲ　ヌイテクダサイ	リアトラクタが選択されているときに、フロントの給紙口に用紙が検出された（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	**リアトラクタが選択している状態で、フロントシートガイドから用紙を挿入しました。** →　フロントシートガイドの用紙を取り除き、給紙選択レバーをカット紙に切り替えてください。
フロント　マタハ　トップ　ノ ヨウシヲヌイテクダ サイ	シートガイドで、トップとフロントの両方のセンサ上で用紙を検出している（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	**フロントシートガイドとトップシートガイドの両方に用紙をセットしています。** →　フロントシートガイドまたはトップシートガイドのどちらかより用紙を取り除いてください。
ヘッド　コウオン カタホウコウインサツチュウ	印刷ヘッドが高温になっている	**印刷ヘッドが高温になっています。** →　さらに印刷を続けると“ヘッド　コウオン　シバラクオマチクダサイ”とディスプレイに表示され約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。

ディスプレイ表示	アラームの内容 （ランプの状態）	アラームの詳細と処置方法
ヘッド　コウオン シバラクオマチクダサイ	印刷ヘッドが高温になっている（アラームランプ、高速印刷ランプが点滅）	**印刷ヘッドの温度が高くなっています。** →　約 6 秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。さらに印刷を続けると“ヘッドコウオン　ヒエルマデオマチクダサイ”とディスプレイに表示され印刷が一時中断されます。印刷ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
ヘッド　コウオン ヒエルマデオマチクダサイ		**印刷ヘッドの温度が高くなっています。** →　印刷が一時中断されます。印刷ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
ヨウシ　タイヒ　エラー	連続紙の退避が正しく行われていない（用紙ランプ、アラームランプが点滅）	**連続紙の退避が正しく行われませんでした。** →　紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（68ページ）を参照してください。
ヨウシ　ヅマリ	用紙吸入が正しく行われていない（用紙ランプ、アラームランプが点滅）	**用紙の吸入が正しく行われませんでした。紙づまりの発生、または用紙サイズが違っています。** →　紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（68ページ）を参照してください。用紙サイズが違う場合：規定のサイズの用紙または、設定に合った用紙をセットしてください。
ヨウシ　ハイシュツエラー	用紙の排出が正しく行われていない（用紙ランプ、アラームランプが点滅）	**用紙の排出が正しく行われませんでした。** →　紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（68ページ）を参照してください。
ヨウシヲ　セット シテクダサイ	用紙なし （用紙ランプ点灯）	**用紙がセットされていません。** →　用紙をセットしてください。
リア　マタハ　トップノ ヨウシヲヌイテクダサイ	フロントトラクタが選択されているとき、にリアの給紙口に用紙が検出された（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	**フロントトラクタが選択されている状態でトップシートガイドから用紙を挿入しました。** →　トップシートガイドの用紙を取り除き、給紙選択レバーをカット紙に切り替えてください。
レバーヲ　＊＊＊ニ モドシテクダサイ	用紙ありの状態で（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	**用紙をセットしている給紙口と異なる給紙口を選択しました。** →　ディスプレイに表示している給紙口にレバーを戻してください。現在の給紙口の用紙を取り除いてから給紙選択レバーを切り替えてください。
レバーヲ　トップトラクタ　ニ モドシテクダ サイ	トップトラクタがセットされているときにカット紙が選択されて用紙が吸入された（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	**トップトラクタがセットされている状態で給紙選択レバーをカット紙に切り替えました。** →　給紙選択レバーをトップトラクタに戻してください。または、電源をOFFにしてからトップトラクタを外し、カット紙に切り替えてください。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

プリンタが思うように動作しなかったり印刷の状況がよくなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

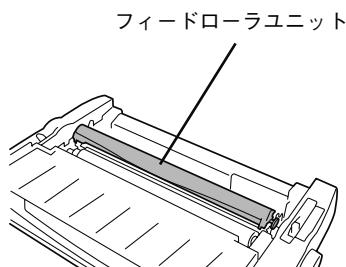
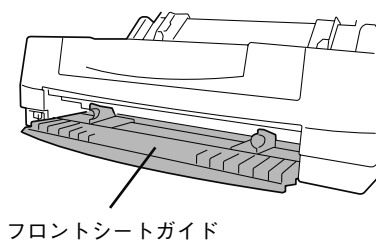
症状	原因と処置方法
電源ランプが点灯しない	**電源コードがコンセントから抜けていませんか。** → 電源スイッチをOFFにしてから電源コードのプラグを確実に差し込んでください。 **電源スイッチがOFFになっていませんか。** → 電源スイッチをONにしてください。 **コンセントに電気がきていますか。** → コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチを ON にしてください。（スイッチがないときは、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください）。
電源ランプがいったん点灯した後消灯してしまい、再度電源スイッチをONにしても点灯しない	**コンセントとプリンタの電圧が違っていませんか。** → プリンタ背面のラベルに印刷されている電圧とコンセントの電圧を確認してください。万一違う電圧を使用した場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。
印刷動作しない	**印刷可ランプが消灯していませんか。** → ［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **用紙ランプが点灯していませんか。** → 用紙を正しくセット・吸入してください。 **プリンタケーブルが外れていませんか。** → プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
印刷音はしているのに印刷されない	**インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。** → 正しく取り付け直してください。 **用紙厚さセットレバーの位置と用紙の厚さが合っていますか（MultiImpact 201MAの場合）。** → 正しい位置に合わせてください。
印刷速度が急に遅くなった	**長時間印刷を続けていませんか。** → ヘッドが高温になったため、両方向最短印刷から片方向印刷に切り替えています。印刷ヘッドの温度が下がれば元の印刷速度に戻りますので、しばらくお待ちください。 **黒の比率が高い印刷を行っていませんか。** → 印刷ヘッドが高温になるのを避けるため速度を遅くして印刷しています。黒の比率の低い印刷を行えば、元の印刷速度に戻ります。
印刷が欠ける	**インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。** → 正しく取り付け直してください。 **インクリボンがたるんだり、印刷ヘッドから外れかけたりしていませんか。** → インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。 **用紙の右上または左上が破れていたり、用紙に黒または濃い色のマークが印刷されていませんか。** → 用紙の右上・左上は正しくきれいにカットしてください。黒または濃い色のマークの印刷された用紙は避けてください。
印刷が横一列に欠ける	印刷ヘッドのピンが折れています。お買い求めの販売店にご相談ください。
左右端の文字が印刷されない	**印刷範囲より狭い用紙に印刷を行いませんでしたか。** → 印刷範囲に合った用紙をセットし直してください。
印刷が薄い	**インクリボンのインクが薄くなったり、波を打つような状態になっていませんか。** → 新しいインクリボンカートリッジと交換してください。 **用紙厚さセットレバーの位置は適切ですか（MultiImpact 201MAの場合）。** → 用紙の厚さに合わせて、レバーを適切な位置に動かしてください。（14ページ参照）

症状	原因と処置方法
シートガイドから吸入されない	**用紙はしっかりと差し込まれていますか。** →　突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。 **ディスプレイに「シートガイド」と表示されていますか。** →　給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にしてください。
シートガイドから曲がって吸入される	**用紙はしっかりと差し込まれていますか。** →　突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。 **用紙に折り目やしわがありませんか。** →　新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。 **用紙は規格に合っていますか。** →　規格内の用紙を使用してください（付録の「用紙の規格」（79ページ）参照）。
シートフィーダ使用時、カット紙が吸入されない	**ディスプレイに「シートフィーダ」と表示されていますか。** →　給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にしてください。
シートフィーダ使用時、カット紙がうまく送れない	**用紙が正しくセットされていますか。** →　用紙を正しくセットし直してください。 **セットする用紙が多すぎませんか。**＊1 →　セットする枚数を減らしてください。ホッパーに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64g/m^2（連量55kg）の用紙の場合、A4サイズで最高180枚、A3サイズで最高100枚です。 **スタッカに用紙がたまりすぎていませんか。**＊1 →　スタッカの印刷済み用紙を取り除いてください。スタッカ部に一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64g/m^2（連量55kg）のA4サイズの用紙の場合、スタッカで90枚以下、スタッカガイドで50枚以下です。 **用紙に折り目やしわがありませんか。** →　新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。 **用紙は規格に合っていますか。** →　規格内の用紙を使用してください（付録の「用紙の規格」（79ページ）参照）。
連続紙が吸入されない	**用紙がトラクタから外れていませんか。** →　用紙をトラクタに正しくセットしてください。
連続紙が曲がって吸入される	**ディスプレイに表示された給紙方法は正しいですか。** →　給紙選択レバーを給紙方法に合った位置にしてください。 **用紙の穴がトラクタピンに正しくかみ合っていますか。左右でずれていませんか。** →　用紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合うようにセットし直してください。 **左右のトラクタの間隔が狭いために用紙がたるんでいませんか。** →　左右どちらかのトラクタを動かして、用紙のたるみをとってください。 **セットした用紙のストック分は正しい位置に置かれていますか。** →　用紙のストック分は連続紙セット位置に対して鉛直線上に、プリンタ本体と平行になるように置いてください。 **用紙のストック分を置いてある位置がプリンタから遠すぎませんか。** →　用紙のストック分はプリンタから1m以内に置いてください。 **用紙が何かに引っかかっていませんか。** →　用紙が引っかかっているものを取り除いてください。
連続紙が曲がって吸入される、またはプリンタの中でひっかかってつまる	**用紙は規格に合っていますか。** →　規格内の用紙を使用してください（「付録」の「用紙の規格」（79ページ）参照）。
ミシン目スキップがずれてしまう	**用紙の設定が使用している用紙の折れ長に合っていますか。** →　連続紙の用紙長を正しく設定してください（オンラインマニュアルの「パラメータ設定を変更する」参照）。

＊1　各用紙の推奨枚数については、「付録」の「用紙の規格」（79 ページ）をご覧ください。

以上のことを確認して、それぞれの処置方法に従っても症状が改善されない場合は、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にご相談ください。

紙づまりの処理

紙づまりの発生が考えられる場所は次の2か所です。

用紙がプラテンやその周囲につまって取り除けない場合は、つまった用紙を無理に引っ張ったりせず、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

- 用紙がプリンタ内部につまったときは、必ず電源をOFFにして電源コードのプラグをコンセントから抜いてから、つまった用紙を取り除いてください。電源がONのまま装置内部に手を入れると、プリンタが突然動作してけがをするおそれがあります。
- 電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると、コードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

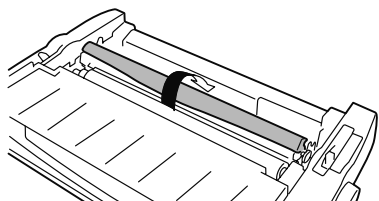
フィードローラユニットの付近でつまったときは

1 プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜く。

印刷途中の場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、送ったデータが消失します。つまった用紙を取り除いた後、再度データを送り直してください。

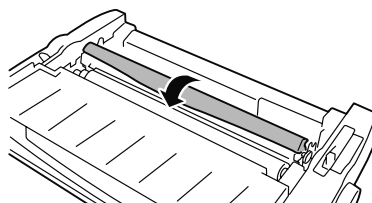
2 キャノピを開ける。

3 トップシートガイドを取り外す。

4 ベールガイドを開ける。

5 つまった用紙を取り除く。

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないことを確認してください、

6 ベールガイドを元に戻す。

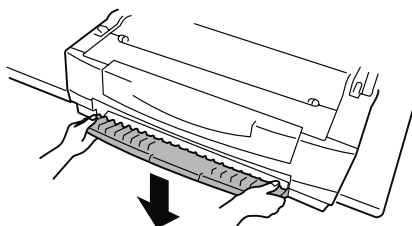
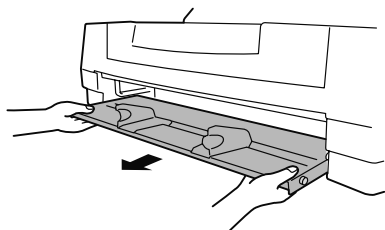
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

7 トップシート ガイドを 取り付け、キャノピを閉める。

フロントシートガイド付近でつまったときは

❶ **プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜く。**

印刷途中の場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、送ったデータが消失します。つまった用紙を取り除いた後、再度データを送り直してください。

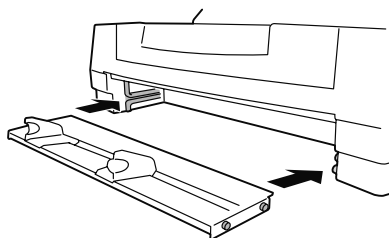
❷ **フロントカバーを取り外す。**

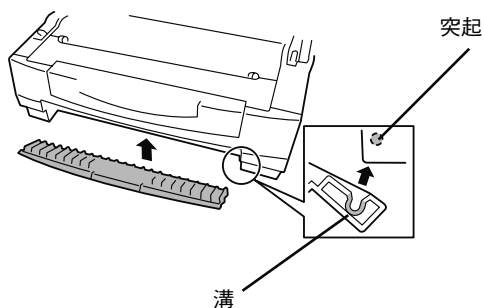
プリンタを台や机の端に移動し、フロントカバーを45度くらいに開いて下に引っ張ります。

❸ **フロントシートガイドを引き出す。**

❹ **つまった用紙を取り除く。**

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないことを確認してください。

❺ **フロントシートガイドを取り付ける。**

フロントシートガイドの左右4つの突起をプリンタ内側の溝に沿って押し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

❻ **フロントカバーを取り付ける。**

フロントカバーの溝をプリンタの円筒状の突起に入れるように押し上げます。

保証および修理の依頼について

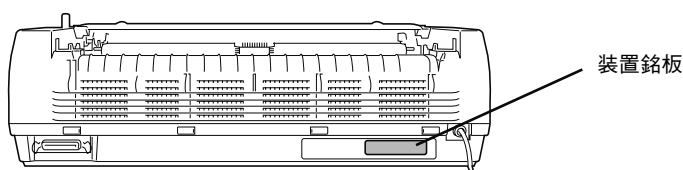
お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録についてはプリンタに添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

保証について

本プリンタには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、「保証書」の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳細については「保証書」をご覧ください。保証期間後の修理については、この後の「保守サービスについて」をご覧の上、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼られています。販売店にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご確認ください。

修理の依頼について

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されていることを確認する。
2. インクリボンカートリッジの取り付けが確実に行われていることを確認する。
3. 「エラー表示が出ているときは」（64ページ）、または「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（66ページ）を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」をご覧のうえ、保守サービスをご利用ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。

- 電話をする際、ディスプレイの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンタをお持ち込みいただくときは「運搬するときは」（73ページ）の手順に従ってプリンタを梱包してください。

保守サービスについて

プリンタの問題はプリンタ自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおり処置を行っても、なお問題が解決しない場合はプリンタに添付のNECサービス網一覧をご覧いただき、保守サービスをご利用ください。

プリンタの寿命について

本プリンタの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。

有寿命部品（有償）について

プリンタの機能・性能を維持するために交換＊4を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）＊5は、印刷ドット数によって設定されています。本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次のとおりです。

プリンタ本体用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊5
印刷ヘッド	2億ドット/ピン

＊4　有寿命部品（有償）の交換は、サービス担当者に依頼してください。

＊5　NEC 純正インクリボンを使用し、15 ×11 インチ用紙（坪量 64g/m^2 の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。
お客様がドット / ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。
文字換算：漢字 3300 万字、NHS パイカ6600 万字
55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

補修用性能部品について

本プリンタの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットのWebページ	NEC コーポレートサイト（http://www.nec.co.jp/）

運搬するときは

本プリンタを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、運搬時の衝撃からプリンタを守るために、お買い上げ時にプリンタを梱包していた包装材を使い梱包してください。

❶ **インクリボンカートリッジを取り外す。**

詳しくは、4章の「インクリボンカートリッジの交換」（57ページ）を参照してください。

❷ **プリンタおよびコンピュータの電源を OFF にする。**

❸ **電源コードをコンセントから抜く。**

抜くときは、プラグを持って電源コードを抜いてください。

❹ **プリンタケーブルを取り外す。**

❺ **トップシートガイドが付いていれば取り外す。**

❻ **オプション類を使用していたときは、すべて取り外す。**

オンラインマニュアルを参照してください。

❼ **保護用部品をもとの位置に取り付ける。**

1章の「保護用部品を取り除く」（15ページ）を参照してください。

❽ **梱包材を元のように取り付けて、プリンタおよび付属品を箱にしまう。**

これで運搬準備完了です。

プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

プリンタの廃棄について

プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。
また、NECでも法人のお客様に販売したプリンタを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンタを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。

詳しくは、http://www.nec.co.jp/eco/ja/ をご覧ください。

プリンタの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンタに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因になることがあります。

インクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

NECでは、資源の有効活用と地域環境保全を目的に使用済みのNEC製インクリボンカートリッジ、インクリボンの回収を行っております。
詳しくは、http://www.nec.co.jp/eco/ja/ をご覧ください。

お近くにNECサービス窓口がない場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

付録

仕様

- 印刷方式　インパクトドットマトリクス方式
- 印刷ヘッドワイヤ数　24本（12本 x 2列　千鳥配列）
- 印刷ヘッドワイヤ径　0.2mm
- 印刷桁数と印刷速度

文字幅			印刷桁数／行		印刷速度＊1 / 秒			
					MultiImpact 201MA		MultiImpact 201HA	
			136 桁設定	80 桁設定	通常印刷時	高速印刷時	通常印刷時	高速印刷時
ANK〈英数カナ〉	パイカ	HS NHS	136字	80字	245字	245字	269字	269字
		HD	136字	80字	123字	245字	135字	269字
	コンデンス		233字	137字	280字	280字	308字	308字
	エリート		163字	96字	130字	260字	143字	286字
	プロポーショナル		最大362字	最大213字	131〜327字	262〜654字	144〜359字	287〜718字
CGグラフィック	パイカ	HS NHS	136字	80字	245字	245字	269字	269字
		HD	136字	80字	123字	245字	135字	269字
	コンデンス		233字	137字	280字	280字	308字	308字
	エリート		163字	96字	130字	260字	143字	286字
	プロポーショナル		136字	80字	123字	245字	135字	269字

文字幅			印刷桁数／行		印刷速度＊1／秒			
					MultiImpact 201MA		MultiImpact 201HA	
			136桁設定	80桁設定	通常印刷時	高速印刷時	通常印刷時	高速印刷時
漢字〈全角〉	10.5p、3/20インチ幅		90字	53字	82字	164字	90字	179字
	10.5p、1/5インチ幅		68字	40字	61字	122字	67字	135字
	9.5p、1/6インチ幅		81字	48字	65字	131字	72字	143字
	9.5p、2/15インチ幅		102字	60字	82字	164字	90字	179字
	7p、1/10インチ幅		136字	80字	82字	164字	90字	179字
	12p、1/6インチ幅		81字	48字	65字	131字	72字	143字
グラフィック	8ビット	コピーモード	1088ドット	640ドット	490字	490字	538字	538字
		ネイティブモード	2176ドット	1280ドット	245字	490字	269字	538字
	16ビット		2176ドット	1280ドット	123字	245字	135字	269字
	24ビット		2176ドット	1280ドット	82字	164字	90字	179字

＊1　MultiImpact 201MA の場合は、インクリボンカートリッジ（黒）を使用し、用紙厚さセットレバーの位置を3 にした場合の印刷速度です。MultiImpact 201HA の場合は、ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）を使用した場合の印刷速度です。

- 印刷方向　　両方向最短距離および片方向印刷
- 混在印刷　　同一行の混在についてはコンデンスモードおよびコピーモードのグラフィック以外はすべて可能
- 改行幅　　4.233mm（1/6インチ）、3.175mm（1/8インチ）、および0.212 x n mm（n/120インチ）＊
  ＊　n=0〜99
- 改行時間　　50ms（4.233mm（1/6インチ）改行時）
- 改行方向　　順方向および逆方向
- 最小改行量　　0.212mm（1/120インチ）
- 登録文字　　外字256文字　ダウンロード文字128文字
- 用紙送り方式
  - トップシートガイド
  - フロントシートガイド
  - トラクタユニット（リアトラクタ、トップトラクタ）
  - シートフィーダ（オプション）
  - トラクタフィーダ（オプション）
  - フロントトラクタフィーダ（オプション）
- 用紙厚調整　　手動11段（MultiImpact 201MA）
  自動（MultiImpact 201HA）

- インクリボンカートリッジ

品名	印刷可能数＊3	
	NHS パイカ	漢字
インクリボンカートリッジ（黒）＊1	約400万字	約170万字
カラーインクリボンカートリッジ＊2	約100万字	約50万字
ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）＊2	約700万字	約300万字

＊1 MultiImpact 201MA のみ

＊2 MultiImpact 201HA のみ

＊3 お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

- インタフェース　IEEE1284準拠双方向パラレル
- 使用コード
  - 8ビットコード＊4
  - 7ビットコード＊4
  - 漢字コード

＊4 メモリスイッチにより切り替えます。

- 環境
  - 動作温度：5～38℃
  - 動作湿度：10～85%RH
  - 保管温度：-25～60℃＊5
  - 保管湿度：0～90%RH
  - 塵埃量、ガス成分：一般事務室程度

＊5 開封前の状態での保管条件は、0～40℃の環境で1年以内とします。使用時は使用場所の環境に十分なじませてください。

- 電源　100V±10%、50/60Hz
- 定格電流　1.2A（MultiImpact 201MA）
1.5A（MultiImpact 201HA）
- 質量　約14kg（MultiImpact 201MA）
約15kg（MultiImpact 201HA）
- 寸法　幅600mm x 奥行370mm x 高さ165mm（プラテンノブ、シートガイド含まず）
- 消費電力

項目	MultiImpact 201MA	MultiImpact 201HA
動作時最大	84W（112VA）	111W（147VA）
動作時平均	56W	75W
待機時＊6（節電機能使用時）	7W以下	10W以下
電源スイッチOFF時＊7	0W	0W

＊6 節電機能とは、プリンタの電源を ON にしたまま 1 分以上（工場出荷時）、印刷動作やスイッチ操作が行われなかったときに、電力消費を節約する機能のことです。

＊7 電源スイッチはメカニカルスイッチを使用しています。

オプション装着時にも上記の各消費電力は変わりません。

- 騒音　約59dB（A補正）（測定はISO7779による）

付録

- 製品寿命　　使用年数5年＊1

＊1　製品寿命の5年を越えて使用される場合、または使用量が使用年数5年相当を超えて使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください。

- 有寿命部品（有償）

部品名	推奨交換周期（交換の目安）
印刷ヘッド	2億ドット/ピン＊2

＊2　NEC純正インクリボンを使用し、15×11インチ用紙（坪量64g/m^{2}の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。お客様がドット/ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。
文字換算：　漢字3300万字、NHSパイカ6600万字
55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

- 製品保守（修理業務）　　本製品の保守および修理業務は、製品出荷停止後5年間です。その後の保守および修理業務は打ち切りとなります。

用紙の規格

用紙サイズと坪量

用紙は次のものを使用してください。坪量（g/m^2）は1m^2の質量をグラムで示したものです。

用紙の種類	サイズ	坪量（連量）または用紙の厚さ
連続紙		
普通紙	127.0～406.4mm（5～16インチ）	46.5～81.4g/m^2 （40～70kg相当）
複写式用紙 •感圧紙 •裏カーボン紙 •ワンタイムカーボン紙	127.0～406.4mm（5～16インチ）	「用紙の種類と複写枚数」（81ページ）を参照
ラベル紙＊1	127.0～406.4mm（5～16インチ）	0.2mm以下（台紙含む）
カット紙		
普通紙 複写式用紙	定型サイズ： A5、B5、A4、B4、A3 定型外サイズ： 幅127～420mm×長さ91.4～420mm＊2 （幅5～16.5インチ×長さ3.6～16.5インチ）＊2	46.5～81.4g/m^2 （40～70kg相当）
はがき		
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m^2（135kg相当）

＊1　ラベル紙の材質が紙以外の「合成紙」「PET 紙」などはインクがのりませんので、使用しないでください。

＊2　オプションのシートフィーダ使用時は、定形外サイズ幅 148 ～ 420mm ×長さ 109 ～ 364mm（幅 5.8 ～ 16.5 インチ×長さ 4.3 ～ 14.3 インチ）となります。

往復はがきは印刷できません。

付録

用紙のセット方向

- 「印刷範囲」（92ページ）を参照してください。
- シートガイドおよびシートフィーダ使用時の取り扱い可能な定型用紙は次のとおりです。
  複写式用紙の場合は、縦置き、横置きにかかわらず、のり付け部分から先にセットして吸入させます。

◇　シートガイド使用時

使用方向	用紙サイズ				
	A3	B4	A4	B5	A5
縦置き	○	○	○	○	○
横置き	○	○	○	○	○

◇　シートフィーダ使用時

使用方向	用紙サイズ				
	A3	B4	A4	B5	A5
縦置き	×	○	○	○	○
横置き	○＊1	○	○	○	○

＊1　感圧紙は使用できません。

用紙の推奨枚数

シートフィーダでの各用紙の推奨枚数は、次の表のとおりです。

用紙の種類	サイズ	ホッパ推奨セット枚数	スタッカ容量	
			スタッカ	スタッカガイド
上質紙（坪量64g/m^2）（連量55kg）	A4	20〜180枚	90枚以下	50枚以下
	B4	20〜120枚	60枚以下	30枚以下
	A3	20〜100枚	45枚以下	25枚以下
感圧紙	A4	10〜50枚	—	25枚以下
	B4	10〜30枚	—	15枚以下
はがき	はがき	10〜70枚	—	30枚以下

用紙の種類と複写枚数

バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4g/m^2（連量70kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していません。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

用紙の種類	給紙方法	印刷用紙＊1	最大複写枚数（オリジナルを含む）
カット紙	トップシートガイド	上質紙＊2	1
		複写式用紙（感圧紙）＊3	2 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		はがき	1
	フロントシートガイド	上質紙＊2	1
		複写式用紙（感圧紙）＊3	5 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		はがき	1
	シートフィーダ （オプション）	上質紙＊2	1
		複写式用紙（感圧紙）＊3	2 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		はがき＊4	1
連続紙	リアトラクタ フロントトラクタ	上質紙＊2	1
		複写式用紙（感圧紙）＊3	5 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		ラベル紙	1

＊1　プレプリント用紙において、パウダなどの付着があると用紙走行に支障をきたす場合がありますので、注意してください。

＊2　再生紙および A3 サイズの用紙は一般室温の環境下で使用してください。また紙質によってはインクのにじみや紙づまりや印刷汚れが発生することがあります。その場合は紙質の良いものに変更してください。

＊3　一般室温の環境下で使用してください。

＊4　シートフィーダで、はがきなどの厚紙を頻繁に使用すると、用紙吸入部の摩耗が普通紙使用時に比べて早まる場合があります。

付録

複写枚数と坪量（連量）

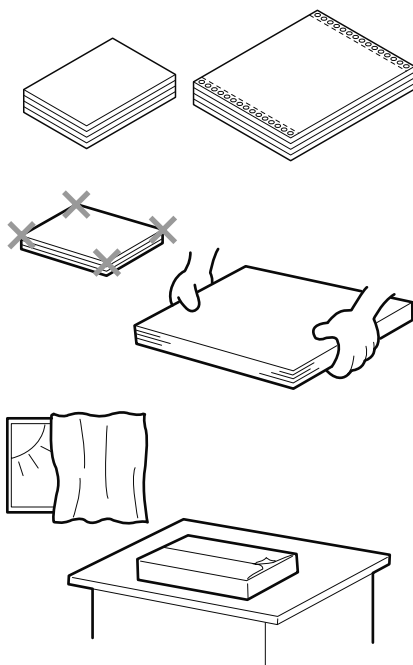
<table>
<tr><th rowspan="2">複写枚数</th><th colspan="2">1</th><th colspan="2">2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr>
<tr><th colspan="7">坪量（g/m^2）（連量（kg））</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1枚目</td><td rowspan="2">46.5～81.4（40～70）</td><td>ハガキ</td><td rowspan="2">46.5～64.0（40～55）</td><td>S/F使用時</td><td rowspan="2">39.5～46.5（34～40）</td><td rowspan="2">34.9～39.5（30～34）</td><td rowspan="2">34.9～39.5（30～34）</td></tr>
<tr><td>157.0（135）</td><td>39.5（34）</td></tr>
<tr><td>2枚目</td><td colspan="2">—</td><td>46.5～64.0（40～55）</td><td>50.0～64.0（43～55）</td><td>39.5～46.5（34～40）</td><td>34.9～39.5（30～34）</td><td>34.9～39.5（30～34）</td></tr>
<tr><td>3枚目</td><td colspan="4">—</td><td>39.5～46.5（34～40）</td><td>34.9～39.5（30～34）</td><td>34.9～39.5（30～34）</td></tr>
<tr><td>4枚目</td><td colspan="5">—</td><td>34.9～39.5（30～34）</td><td>34.9～39.5（30～34）</td></tr>
<tr><td>5枚目</td><td colspan="6">—</td><td>34.9～39.5（30～34）</td></tr>
</table>

- 複写枚数はオリジナル（1枚目）を含めます。
- オリジナル（1枚目）はリボンのインクを急速に吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写紙の2枚目以降は、ノーカーボン紙または裏カーボン紙を使用してください。
- 使用できるカット紙の厚さは複写式用紙で約0.3mmまでです。
- 推奨規格を超える厚さの用紙を使用する場合やシートフィーダから用紙が重なって吸入された場合は、用紙ジャムが発生し、印刷不可（ディセレクト）状態になる場合があります。
  推奨規格内の厚さの用紙を使用し、シートフィーダに用紙をセットする場合は、よくさばいて、上下左右を揃えてください。
- バーコード領域は反射率80%以上の白色で、染み・汚れ・しわなどのない用紙を使用してください。
- バーコード使用時は、坪量81.4g/m^2（連量70kg）の用紙を使用してください。
- 厚い用紙を使用した場合、印刷速度が遅くなります。厚い用紙はフロントトラクタまたはトップトラクタを使用してください。

保管上の注意

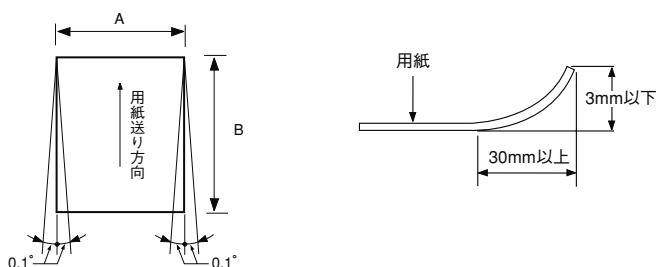
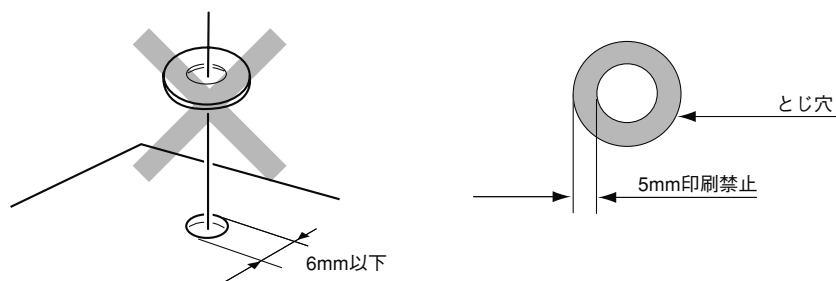
印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「用紙の規格」（79ページ）で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。

用紙を持つときは角を持たずに中央部分を持つようにしてください。角を持つと用紙が折れて紙づまりの原因になります。

残った用紙は包装紙に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように、平らな場所に置いてください。

用紙設計に関する注意事項

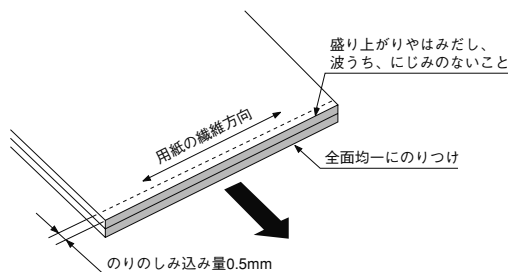
カット紙に関する注意

普通紙について

- 長方形の用紙（インデックス、切欠きのないもの）を使用してください。
- 用紙の角のカッティングやアールは45°の面とり8mmまたは半径8mm以下の用紙を使用してください。
- 横方向の切断寸法は±0.5mm以下、縦方向の直角度は±0.1°以下の用紙を使用してください。
- カール（反り）、折れ、曲がりなどのくせのない用紙を使ってください。

- A/B比が3/5以上、2以下の用紙を使ってください。
- 用紙の切断面は凹凸や“けば”がない用紙を使用してください。ミシン目においてカットした用紙は使用しないでください。用紙づまりの原因となります。
- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。穴を補強した用紙は使用しないでください。

- シートフィーダから吸入動作を行わせる場合は、用紙のとじ穴の“だれ”や“けば”などがない用紙を使用してください。
- 用紙の横と縦の長さの関係が、3:5以上（＝横の長さ／縦の長さ）、2:1以下（＝横の長さ／縦の長さ）となっている用紙を使用してください。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

複写式のカット紙について

カット紙に関する注意の他に、次のことに注意してください。

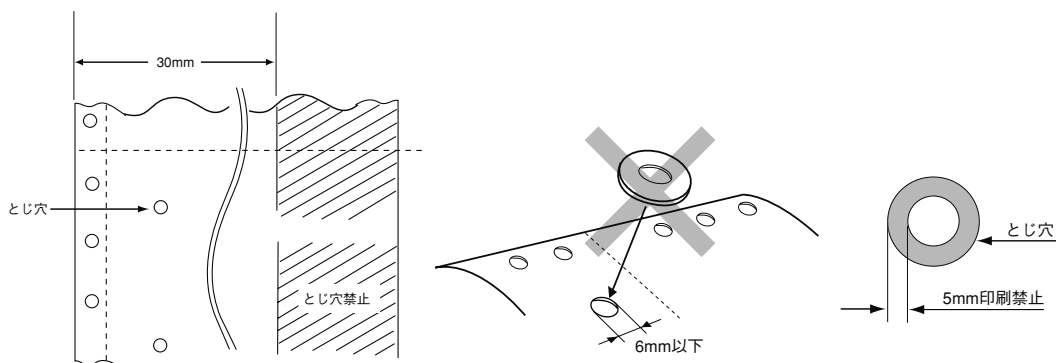
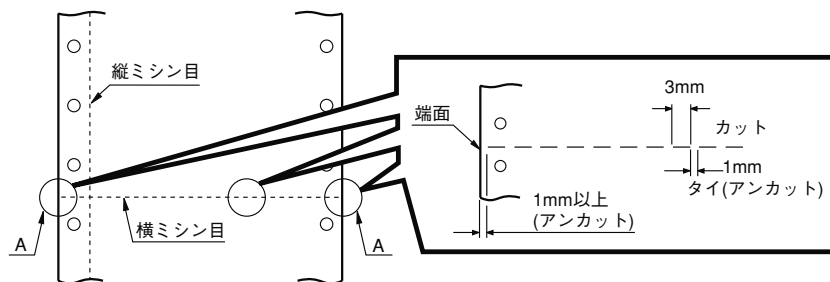
- ノーカーボン紙（感圧紙）を使用してください。
- 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみがないものを使用してください。
- 用紙送り方向の先端を天側のり付けした用紙を使用してください。
- 綴じてある方から給紙してください。
- 複写紙の糊付け部は十分乾燥し、半乾きのない状態の用紙をご使用ください。

- フロントシートガイドを使って給紙することをお勧めします。
- 複写枚数は、フロントシートガイドを使って給紙するときはオリジナル（1枚目）を入れて5枚まで、トップシートガイドを使って給紙するときはオリジナルを入れて2枚までです。

前から給紙

付録

連続紙に関する注意

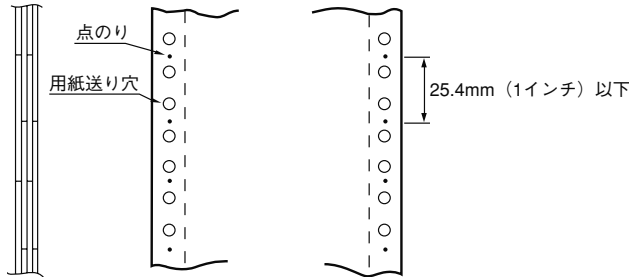
普通紙について

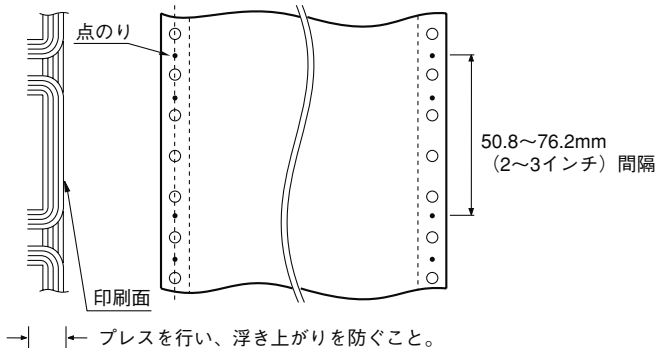
- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。
- 用紙の左側から30mm（1.2インチ）を越える位置にとじ穴を配置しないでください。用紙左側から30mmを越える位置にとじ穴加工をした用紙を使用した場合、とじ穴を用紙切れと誤検知するおそれがあります。
- とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。
- とじ穴の周囲5mm以内には印刷しないでください。リボンひっかけや印刷ヘッドの損傷およびその周辺に故障が発生する場合があります。

- 印刷範囲内で用紙を左右に分割するような縦ミシン目は入れないでください。用紙づまりが発生する場合があります。
- 次の図に示されたミシン目の入れ方をした用紙を使用してください。ミシン目の両端部Aについては、下図の寸法を守ってください。

- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のタイ（アンカット）、カット比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙フィード時にミシン目から破れて用紙づまりが発生する場合があります。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

複写式の連続紙について

連続紙に関する注意のほかに、次のことを注意してください。

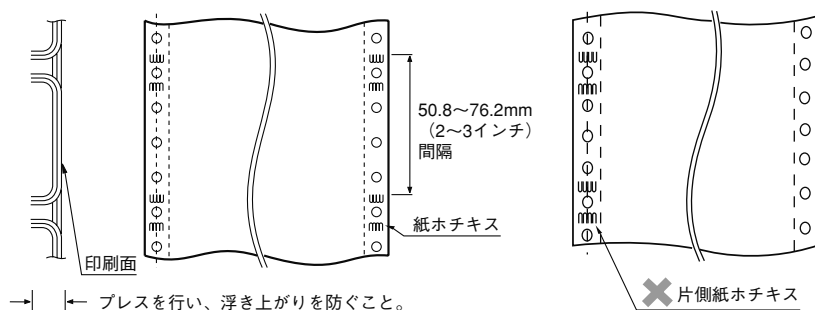
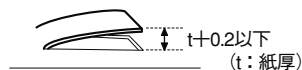
- 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写にあたっては次の要領で用紙をまとめてください。

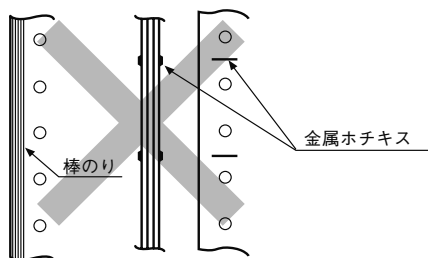
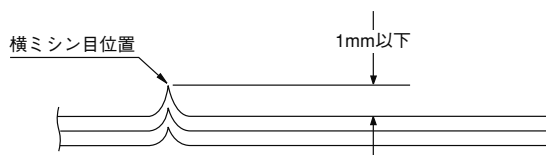
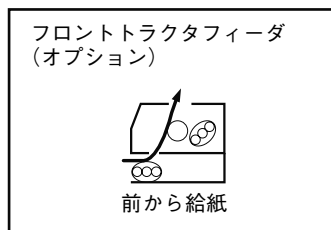
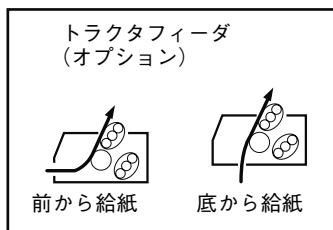
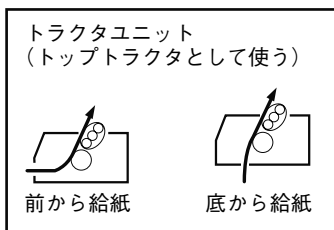
  － 両端の用紙送り穴付近で点のりづけ（双方向改行を行う場合は必ずこのとじ方にすること）。

  － 片端の用紙送り穴付近で紙ホチキス止め（ダブルギャザー）、他端の用紙送り穴付近で点のりづけ。

→| |← プレスを行い、浮き上がりを防ぐこと。

片側ホチキス止めの用紙は使用しないでください。用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホチキス止めの用紙が使用可能です。ただし、紙ホチキスは、両掛け紙ホチキス止めの用紙をご使用ください（シートフィーダ使用時は、両端点のり付け用紙を使用してください）。両端点のり方式は保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のり硬化による凹凸の「しわ」が発生することがあります。その状態で使用すると用紙ズレが起きることがあります。

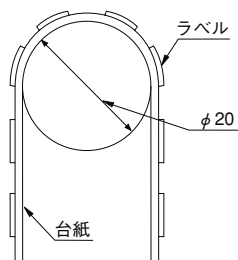
（両掛け紙ホチキス）

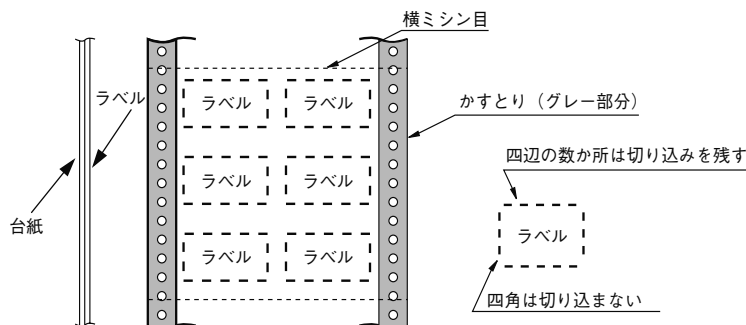
付録

－　両端の紙ホチキス止め（ダブルギャザー）（用紙枚数2枚の場合のみ可）

- 両端紙ホチキス止めの場合、上層紙と下層紙の印刷位置ズレが発生しやすいので、片側点のリ / 片側紙ホチキスを推奨します。
- 片側紙ホチキスや片側とじは使用できません。
- ミシン目の前後12.7mm（1/2インチ）以内の紙ホチキスは避けてください。
- 紙ホチキス部は、用紙が盛り上がりますので、紙厚が厚くならないように十分注意して加工してください。紙ホチキス部が厚くなると、その影響により紙ホチキス付近の印字品位が低下する場合があります。
- 紙ホチキスの加工部は右の図のようにしてください。
- 印刷面には紙ホチキスは出ないようにしてください。

－　金属ホチキスは使用しないこと。

－　棒のりとじの用紙は使用しないこと。

- 横ミシン目部の盛り上がりが1mm以下の用紙を使用してください。

- 次の給紙方法で印刷することをお勧めします。

- 複写枚数はオリジナル（1枚目）を入れて5枚までです。

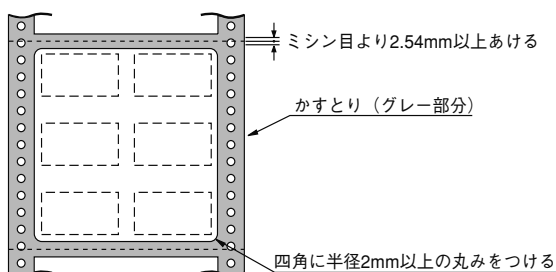
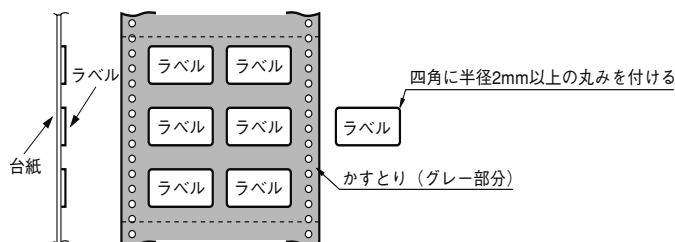
ラベル紙（タック紙）に関する注意

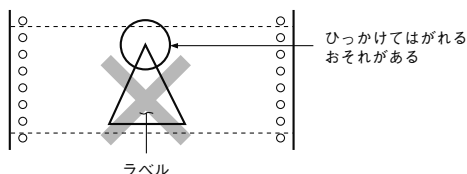
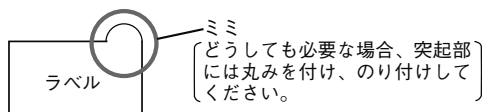
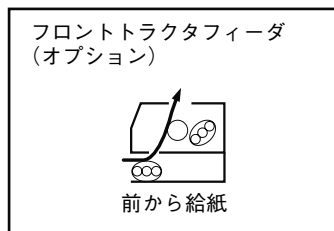
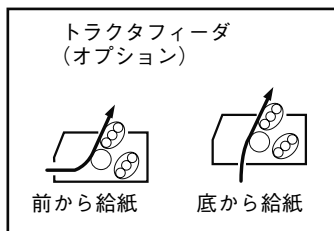
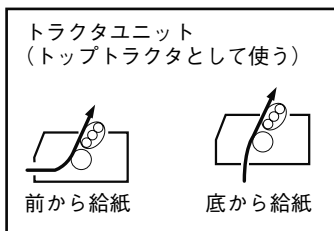
- ラベル紙と台紙の厚さは合計で0.2mm以下で、ラベル紙の厚さより台紙の厚さが同等か厚い用紙を使用してください。
- 直径20mmの円筒にラベルを表にして180°巻き付けたとき、ラベルが台紙からめくれたり、はがれたりしない用紙を使用してください。

- 再剥離ラベルはラベルが台紙からめくれたり、はがれる場合がありますので、お使いになる前に確認してください。
- ラベル紙は、台紙を丸めるとはがれやすくなり、はがれたラベル紙がプリンタの内部に貼り付いて正常な用紙送りができなくなりますので注意してください。
- 以下の用紙形態の用紙を使用してください。

　－　用紙穴付近のみ“かすとり”*したタック紙

* “かすとり”とは、台紙に貼り付けたラベル紙全体から必要な部分だけを残してはぎ取ることです。

- ラベルシールの端は切り込みを残すこと。
- 横ミシン目にもラベルシールが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意すること。

　－　用紙穴付近と横ミシン目部を「かすとり」したタック紙

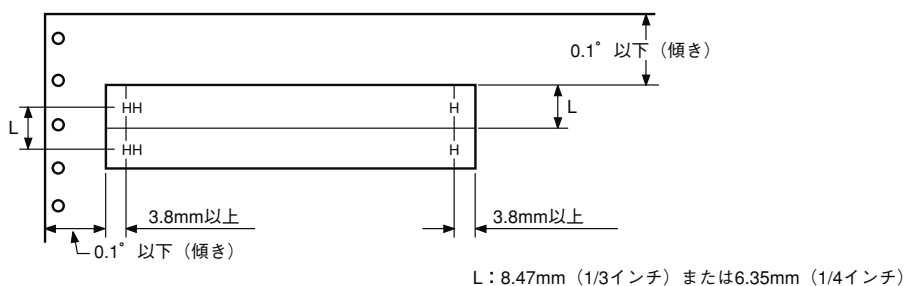
付録

－　アイランド（島）状に貼られたタック紙

－　ラベル紙の角には半径2mm以上アール（丸み）を付けた用紙を使用してください。

－　三角形の頂点のように、用紙送り方向に鋭い角のある形状のラベル紙は使用しないでください。

- のりがラベルの端よりはみ出しているラベル紙は使用しないでください。
- ミシン目での盛り上がりが1mmを超えるラベル紙は使用しないでください。
- はぎ取りやすくするために、あらかじめラベル紙のコーナや端にのりを付けていないラベル紙は使用しないでください。
- “みみ”加工をしたラベル紙は使用しないでください。

- ラベル紙は、台紙を丸めるとはがれやすくなり、はがれたラベル紙がプリンタの内部に張り付いて正常な用紙送りができなくなりますので注意してください
- 次の給紙方法で印刷することをお勧めします。シートフィーダでは使用できません。

プレプリント用紙に関する注意

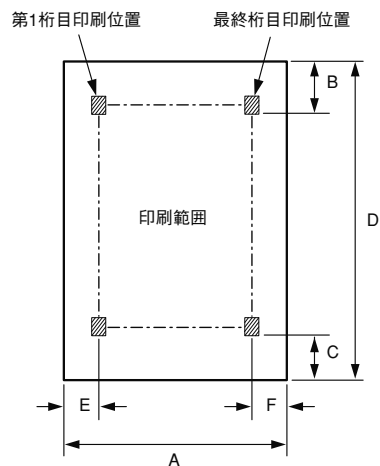
プレプリント用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- 横罫線の印刷は8.47mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、印刷文字は行間の中心に入れるようにしてください。

行間を4.23mm （1/6インチ）にした場合は横罫線に印刷文字がかかる場合があります。

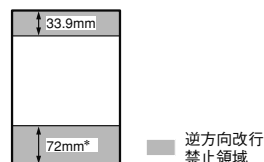
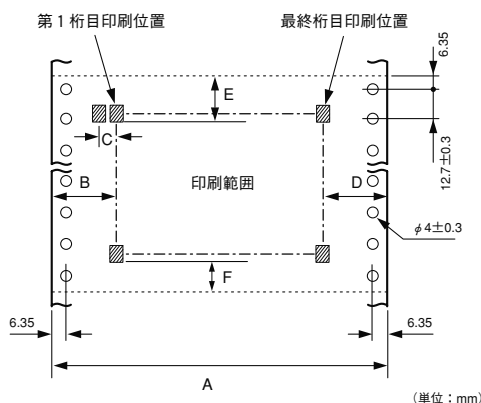
- 横罫線の傾きは用紙上端を基準として0.1°以下、縦罫線の傾きは用紙左端を基準として0.1°以下にしてください。
- 横罫線は文字中心から3.8mm（0.15インチ）以上、離すようにしてください。

- 用紙の一部または全部の領域が黒色や濃い色でプレプリントされている場合、用紙の吸入や印刷結果が正しくならないことがありますので、黒色や濃い色でプレプリントしないでください。

印刷範囲

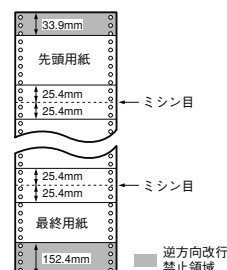
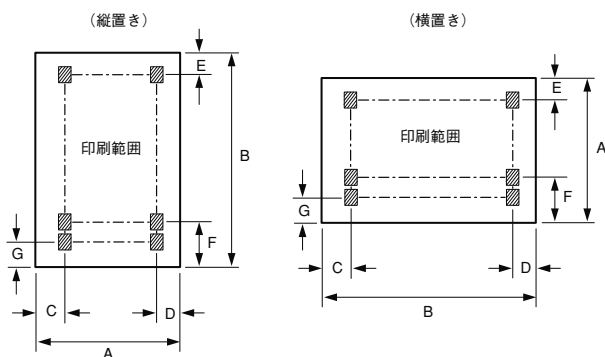
カット紙

<table>
<tr><th rowspan="3">符号</th><th rowspan="3">項目</th><th colspan="3">寸法</th></tr>
<tr><th colspan="2">推奨印刷範囲</th><th rowspan="2">最大印刷範囲</th></tr>
<tr><th>シートガイド</th><th>シートフィーダ</th></tr>
<tr><td>A</td><td>用紙幅</td><td>127～420mm
(5～16.5インチ)</td><td>148～420mm
(5.8～16.5インチ)</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">B</td><td>用紙上端から第1印刷行までの距離</td><td>25.4mm以上
(文字下端)</td><td>9.73mm以上
(文字下端)</td><td>8.5mm
(文字下端)</td></tr>
<tr><td>用紙吸入位置（工場設定）</td><td>25.4±2mm
(文字下端)</td><td>9.73±2mm
(文字下端)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>C</td><td>用紙下端から最終印刷行までの距離</td><td>25.5mm以上のこと
(文字下端)</td><td>6.3mm以上のこと
(文字下端)</td><td>6.3mm
(文字下端)</td></tr>
<tr><td>D</td><td>用紙長</td><td>91.4～420mm
(3.6～16.5インチ)</td><td>109～364mm
(4.3～14.3インチ)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>E＊1</td><td>用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離</td><td>12.7mm以上のこと
(文字中央)</td><td>12.7mm　以上のこと
(文字中央)</td><td>8mm（文字中央）</td></tr>
<tr><td>F＊1</td><td>用紙右端から第1桁目印刷位置までの距離</td><td>12.7mm以上のこと
(文字中央)</td><td>12.7mm　以上のこと
(文字中央)</td><td>8mm（文字中央）</td></tr>
</table>

＊1　A3 横サイズ用紙を使用する場合、E・F 寸法は約 38.5mm となります。

カット紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲には印刷しないでください。
- 推奨印刷範囲を超える印刷については、印刷位置がばらつくことがあるためできるだけ避けてください。
- 用紙上端より約35mmまでおよび用紙下端より約25mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙を自動吸入した場合、用紙吸入位置は8.5～27.9mm（文字下端）の範囲で調整してお使いいただけます。2章の「用紙吸入位置の微調整」（38ページ）」を参照してください。
  ただし、紙先端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、用紙上端から9.73mm（文字下端）の範囲内で印刷は行わないでください。
- シートガイドでは、紙端が痛んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。
  ＊　フロントシートガイドを使用する場合は90mmとなります。
- シートフィーダでは逆改行はできません。
- 第1桁目印刷位置（E）は、用紙幅に応じてセットしてください。

連続紙

符号	項目	推奨印刷範囲寸法
A	用紙幅	127～406.4mm (5～16インチ)
B	トラクタから最左端に寄せたときの用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	35mm（文字中央）
C	トラクタを最左端および最右端に寄せたときの第1桁目印刷位置の移動量	406.4mm（16インチ）用紙で5mm
D	トラクタを最右端に寄せたときの用紙右端から第136桁目印刷位置までの距離	33mm（文字中央）
E F	ミシン目および折り目の影響による汚れおよび 改行ピッチ乱れを避けるため、印刷をしないことが望ましい範囲	25.4mm（文字下端） 23.6mm（文字中央）
		25.4mm（文字下端）

連続紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲は印刷しないでください。
- 連続紙の用紙吸入位置は25.4±2mm（文字下端・工場設定）です、用紙吸入位置は8.5～27.9mm（文字下端）の範囲で調整してお使いいただけます。第2章の「用紙吸入位置の微調整」（38ページ）を参照してください。ただし、紙先端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、用紙上端から9.73mm(文字下端）の範囲内の印刷は行わないでください。
- 連続紙の最後の部分は、用紙下端から6.3mmまで印刷可能です。ただし、リアトラクタを使用している場合、用紙下端から152.4mm（6インチ）の範囲では、用紙穴がトラクタピンから外れてしまうため、印刷位置がばらつくことがあります。この領域では合成印刷（拡大、強調印刷など)、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙上端より約35mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷（拡大、強調印刷など)、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 紙端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。

はがき

符号	項目	推奨印刷範囲寸法
A	はがき横幅	100mm
B	はがき長さ	148mm
C	はがき左端から第1桁目印刷位置までの距離	12.7mm（文字中央）
D	はがき右端から最終桁目印刷位置までの距離	11.5mm（文字中央）
E	はがき上端から第1印刷行までの距離	11.5mm（文字中央）
F	はがき下端から最終印刷桁までの推奨距離	24mm（文字中央）
G	はがき下端から最終印刷行までの最小距離	14mm（文字中央）

- はがき上端より25mmおよびF-Gの範囲内では改行ピッチがばらつくことがあるため、合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 官製はがきあるいは官製はがきと同等品をお使いください。
- 往復はがきは使用できません。

索　引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

オプションのプリントサーバでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。